



取扱説明書 (BMW編)

ご使用になる前に.....	2
はじめに.....	3
安全にご利用になるために	4
対応システムと診断機能	6
対応車種一覧	12
診断コネクタ取り付け位置	13
診断の準備.....	14
車両と接続します	15
電源のON/OFF	18
車種、システムを選択します	20
診断機能.....	26
自己診断機能	27
データ表示機能.....	29
保存データ表示機能.....	46
アクティブテスト機能	54
リセット機能.....	58
サービスリセット機能	59
CBSリセット機能	68
作業サポート機能	72
識別情報表示機能	75

ご使用になる前に

はじめに.....	P3
安全にご利用になるために.....	P4
対応システムと機能.....	P6
対応車種一覧.....	P12
診断コネクタ取り付け位置.....	P13



はじめに

ご使用になる前に

本取扱説明書では、BMW車の診断方法に関してご説明させていただきます。ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

- 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。
- 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

**警告**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

**注意**

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。



警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテスト、サービスリセットはBMWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテスト、サービスリセットは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

ご使用になる前に

対応システム

駆動系	DME(エンジン)
	DDE(ディーゼル)
	EGS(エレクトロニックトランスミッションコントロール)
	EGS[E60](エレクトロニックトランスミッションコントロール)
	EGS[N62TU](エレクトロニックトランスミッションコントロール)
	EGS 6HP(エレクトロニックトランスミッションコントロール)
	EGS 6HPTU(エレクトロニックトランスミッションコントロール)
	EGS GM6(エレクトロニックトランスミッションコントロール)
	EKPS(フューエルポンプ制御)
	EWS(イモビライザ)
	GWS(ギアセレクトスイッチ)
	SMG(シーケンシャルマニュアルギアボックス)
	VTC(バルブトロニック)
	VTC2(バルブトロニック)
	VTG(トランスファーギアボックス)
シャーシ	ABS(アンチロックブレーキシステム)
	ABS・ASC・DSC(アンチロックブレーキシステム)
	ABS・DSC(アンチロックブレーキシステム)
	ABS・DSC(ダイナミックスタビリティコントロール)
	ACC(アクティブクルーズコントロール)
	ACC2(アクティブクルーズコントロール)
	AL(アクティブステアリング)
	AL[AFS70](アクティブステアリング)
	ARS(ダイナミックドライブ)
	ARS2(ダイナミックドライブ)
	CIM(シャーシインテグレーションモジュール)
	CIM2(シャーシインテグレーションモジュール)
	DSC DXC8(ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC PLUS(ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC Premium(ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC(ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC[Conti](ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC[E60](ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC[E65](ダイナミックスタビリティコントロール)
	DSC[Bosch](ダイナミックスタビリティコントロール)
	EDC(エレクトロニックダンパーコントロール)
	EDCSHL(RL エレクトロニックダンパーコントロール)
	EDCSHR(RR エレクトロニックダンパーコントロール)
	EDCSVL(FL エレクトロニックダンパーコントロール)
	EDCSVR(FR エレクトロニックダンパーコントロール)

シャーシ	EHC(エレクトロニックハイトコントロール)
	EHC2(エレクトロニックハイトコントロール)
	EHC・EDC(ハイトコントロール・ダンパコントロール)
	EMF(パーキングブレーキ)
	EPS(エレクトロニックパワーステアリング)
	LDM(前後方向ダイナミクスマネージメント)
	LEW(ステアリングアングルセンサ)
	LRR(長距離センサ)
	MFL(マルチファンクションステアリングホイール)
	RDC(タイヤ空気圧コントロール)
	VDM(上下方向ダイナミクスマネージメント)
	ボディ
AHL(アダプティブコーナリングライト)	
AHM(トレーラーモジュール)	
AIC(オートマチックインターバルコントロール)	
AIC・RLS(オートマチックインターバルコントロール)	
ALBBF(助手席側シート)	
ALBFA(運転席側シート)	
AMP(アンプ)	
AMPH(Hi-Fi アンプ)	
AMPT(Top Hi-Fi アンプ)	
ANT(アンテナ)	
ASK(オーディオシステムコントローラ)	
BIT(ベーシック自動車電話インターフェイス)	
BM(オンボードモニター操作パネル)	
BZM(センターコンソール)	
CA(コンフォートアクセスシステム)	
CAS(カーアクセスシステム)	
CCC-A(アプリケーション)	
CCC-ANT(アンテナ)	
CCC-ASK(オーディオシステムコントローラ)	
CCC-BO(操作面)	
CCC-GW(ゲートウェイ)	
CD(コントロールディスプレイ)	
CDC(CD チェンジャ)	
CD-GW(コントロールディスプレイゲートウェイ)	
CEM(クリーンエネルギーモジュール)	
CHAMP-BO(操作面)	
CHAMP-GW(ゲートウェイ)	
CID(セントラルインフォメーションディスプレイ)	
CNAV(ナビゲーションシステム中国仕様)	
CON(コントローラ)	
CTM(カブリオレットトップモジュール)	
CVM(カブリオレソフトトップモジュール)	
DAB(デジタルチューナ)	
DVDC(DVD チェンジャ)	
DWA(盗難防止装置)	
EWS(イモビライザ)	
FBI(フレキシブルバスインタフェース)	
FBZM(後席センターコンソール操作ユニット)	

ボディ	FCON(後席コントローラ)
	FD(後席ディスプレイ)
	FKA(後席ヒータ・エアコン)
	FLA(ハイビームアシスタント)
	FRM(足元モジュール)
	FRM2(足元モジュール)
	FZD(ルーフ機能センタ)
	HKL(トランクリッドリフト)
	HUD(ヘッドアップディスプレイ)
	IBOC(デジタルチューナ US)
	IH(K)S(ヒータコントロール)
	IHKA(ヒータ・エアコン)
	IHKA[E60](ヒータ・エアコン)
	IHKA[E65](ヒータ・エアコン)
	IHKA[E90](ヒータ・エアコン)
	IHKA2(ヒータ・エアコン)
	IHKA・IHKR(ヒータ・エアコン)
	IHKR(ヒータ・エアコン)
	IHR(ヒータ)
	IHS(ヒータコントロール)
	IKE・IKI・KOMBI(コンビネーションメータ)
	INSTR(インストルメントクラスタ)
	INSTR[E60](インストルメントクラスタ)
	INSTR[E65](インストルメントクラスタ)
	INSTR[E90](インストルメントクラスタ)
	JBE(ジャンクションボックスエレクトロニクス)
	JBE2(ジャンクションボックスエレクトロニクス)
	JBIT(ベーシックインタフェース自動車電話日本仕様)
	JNAV(ナビゲーションシステム日本仕様)
	KBM(ボディベーシックモジュール)
	KGM(ボディベーシックモジュール)
	KHI(ヘッドフォンインタフェース)
	KNAV(ナビゲーションシステム韓国仕様)
	LM(ライトモジュール)
	LM2 AHL(アダプティブヘッドライト付ライトモジュール 2)
	LM2 AHL2(アダプティブヘッドライト 2 付ライトモジュール 2)
	LM2(ライトモジュール 2)
	LSZ・LCM(ライト SW センタ)
	M-ASK-BO(操作面)
	M-ASK-GW(ゲートウェイ)
	M-ASK-NAV(ナビゲーションシステム)
	MFL(マルチファンクションステアリングホイール)
	MPM(マイクロパワーモジュール)
	MRS(マルチレストレイントシステム)
	MRS・SRS(エアバッグ)
	NAV(ナビゲーションシステム)
	NVE(ナイトビジョンエレクトロニクス)
	NVK(ナイトビジョンカメラ)
	PDC(パークディスタンスコントロール)
	PDC[E60・E65](パークディスタンスコントロール)

ボディ	PDC[E90](パークディスタンスコントロール)
	PDC2(パークディスタンスコントロール)
	PM(パワーモジュール)
	RAD(ラジオ)
	RAD2-BO(操作面)
	RAD2-GW(ゲートウェイ)
	RFK(リアビューカメラ)
	RLS(レイン・ロービームソーラーセンサ)
	RLSS(レイン・ロービームソーラーセンサ)
	RLSS[E60](レイン・ロービームソーラーセンサ)
	RLSS[E90](レイン・ロービームソーラーセンサ)
	RSE(後席ディスプレイ)
	SASL(左 A ピラー中継サテライト)
	SASR(右 A ピラー中継サテライト)
	SBSL(左 B ピラー中継サテライト)
	SBSL[E60](左 B ピラー中継サテライト)
	SBSL[E65](左 B ピラー中継サテライト)
	SBSR(右 B ピラー中継サテライト)
	SBSR[E60](右 B ピラー中継サテライト)
	SBSR[E65](右 B ピラー中継サテライト)
	SDARS(中継サテライトチューナ)
	SEC(補助コントロールユニット)
	SES(言語入力システム)
	SEC2(補助コントロールユニット 2)
	SFZ(車両中央中継サテライト)
	SFZ[E60](車両中央中継サテライト)
	SFZ[E65](車両中央中継サテライト)
	SG-FD(コントロールユニット・後席ディスプレイ)
	SG-FD-GW(コントロールユニット・後席ディスプレイ(ゲートウェイ))
	SGM-SIM(セイフティゲートウェイモジュール)
	SGM-ZGM(セイフティゲートウェイモジュール)
	SHD(サンルーフ)
	SHD2(サンルーフ)
	SHZH(パーキングヒータ)
	SIM(セイフティインフォメーションモジュール)
	SINE(サイレンチルトセンサ)
	SMB(助手席シートモジュール)
	SMBF(助手席側シートモジュール)
	SMBF[E60](助手席側シートモジュール)
	SMBF[E65](助手席側シートモジュール)
	SMBFH(助手席側リアシートモジュール)
	SMF(運転席シートメモリ)
	SMFA(運転席側シートモジュール)
	SMFA[E60・E90](運転席側シートモジュール)
	SMFA[E65](運転席側シートモジュール)
	SMFAH(運転席側リアシートモジュール)
	SPMBT(助手席ミラーメモリ)
SPMFT(運転席ミラーメモリ)	
SRS(エアバッグ)	
SSBF(助手席側シート中継サテライト)	

ボディ	SSFA(運転席側シート中継サテライト)
	SSH(後席側シート中継サテライト)
	STVL(左フロントドア中継サテライト)
	STVR(右フロントドア中継サテライト)
	SVS(言語処理システム)
	SZL(ステアリングコラムスイッチセンタ)
	SZM(センターコンソールスイッチングセンタ)
	TCU(テレマティックコントロールユニット)
	TEL(自動車電話)
	TLC(レーンデパーチャーウォーニング)
	TMBF(前助手席側ドアモジュール)
	TMBFH(後助手席側ドアモジュール)
	TMBFT(助手席側ドアモジュール)
	TMFA(運転席側ドアモジュール)
	TMFAH(後運転席側ドアモジュール)
	TMFAT(運転席側ドアモジュール)
	ULF(ハンズフリーエレクトロニクス)
	ULF-SBX(インタフェースボックス)
	ULF-SBX-H(インタフェースボックスハイ)
	VID(ビデオモジュール)
	VM(ビデオモジュール)
	WIM(ワイパーモジュール)
	VSW(ビデオスイッチ)
	ZGM(セントラルゲートウェイモジュール)
	ZKE(セントラルボディ)
	支援機能
メンテナンス	サービスインターバルリセット
	テクニカルインフォメーション

対応機能

- 自己診断
- データ表示
- アクティブテスト
- サービスリセット
- CBSリセット
- 作業サポート
- 識別情報表示

※注意と補足※

- ・ 車両により対応するシステムは異なります。
又、システムにより対応する機能は異なります。

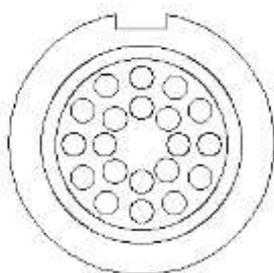
車種名	開発コード	対応年式	
		西暦	和暦
1 シリーズ	E81・E82・E87・E88	2004～2008	H16～H20
3 シリーズ	E30	1984～1991	S59～H03
	E36	1992～1999	H04～H11
	E46	1999～2005	H11～H17
	E90・E91・E92・E93	2006～2008	H18～H20
5 シリーズ	E28	1981～1987	S56～S62
	E34	1988～1995	S63～H07
	E39	1995～2003	H07～H15
	E60・E61	2004～2008	H16～H20
6 シリーズ	E24	1976～1989	S51～H01
	E63・E64	2003～2007	H15～H19
7 シリーズ	E32	1986～1994	S61～H06
	E38	1994～2001	H06～H13
	E65・E66	2002～2008	H14～H20
8 シリーズ	E31	1989～1997	H01～H09
X シリーズ	E83	2004～2008	H16～H20
	E53	2000～2006	H12～H18
	E70	2007～2008	H19～H20
Z シリーズ	E30	1989～1991	H01～H03
	E36	1996～2002	H08～H14
	E85・E86	2003～2008	H15～H20
	E52	2000～2003	H12～H15

※注意と補足※

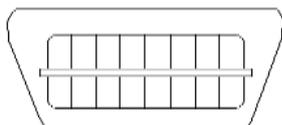
- ・ 対応表のあくまで目安であり、対応表内の車両でも対応していない場合があります。

診断コネクタ(20ピン)

診断コネクタ(20ピン)はエンジンルーム内になります。

**診断コネクタ(OBD16ピン)**

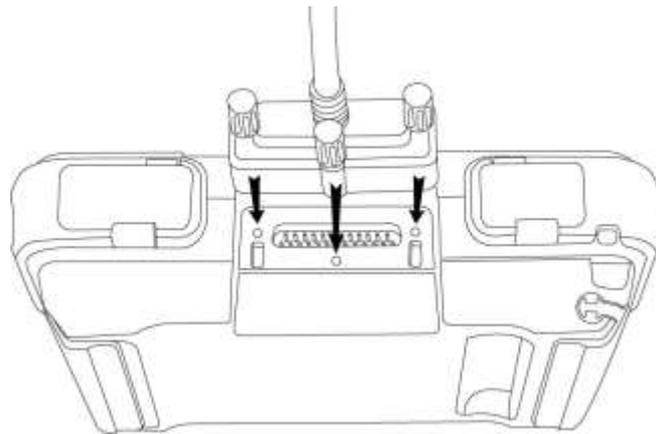
診断コネクタ(OBD16ピン)はインストルメントパネル下部になります。



診断の準備

車両と接続します.....	P15
電源のON/OFF.....	P18
車種、システムを選択します.....	P20

- 1) G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。

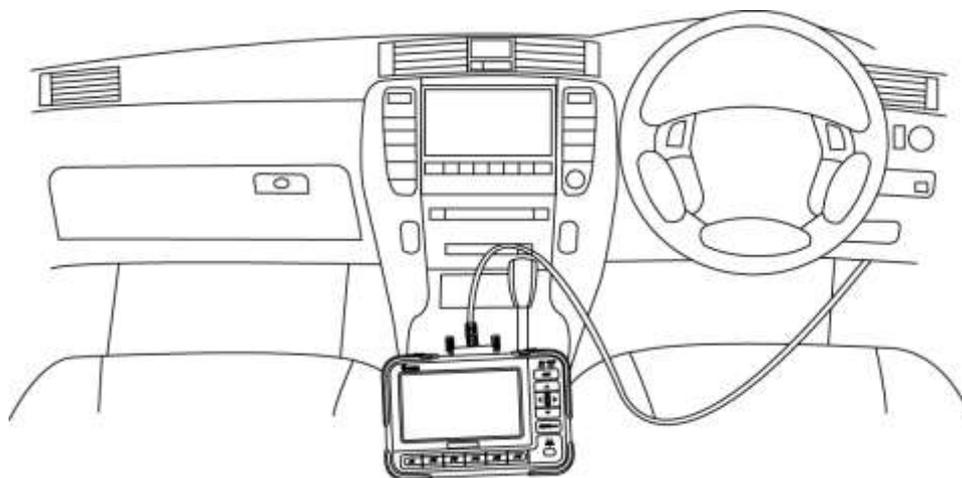


〈図:DLCメインケーブルの接続〉

**警告**

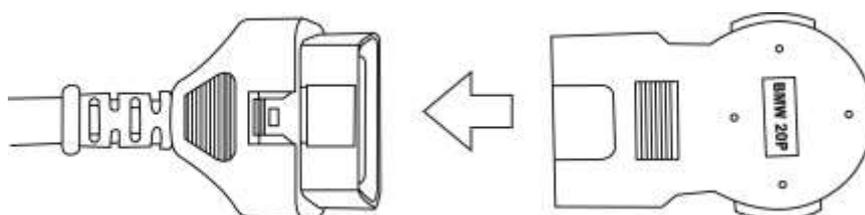
DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

- 2) G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。



〈図:車両との接続〉

- 3) 車両の診断コネクタに診断コネクタ(20ピン)が装備されている場合は、付属のBMW 20PをG-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端に接続して、車両の診断コネクタと接続してください。



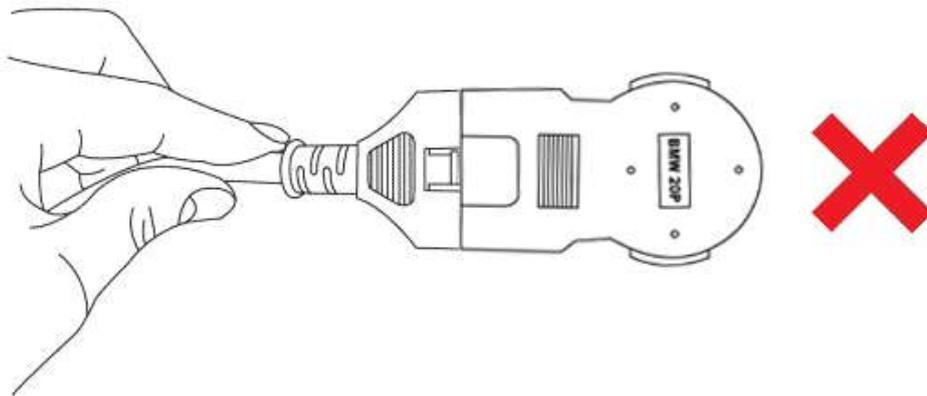
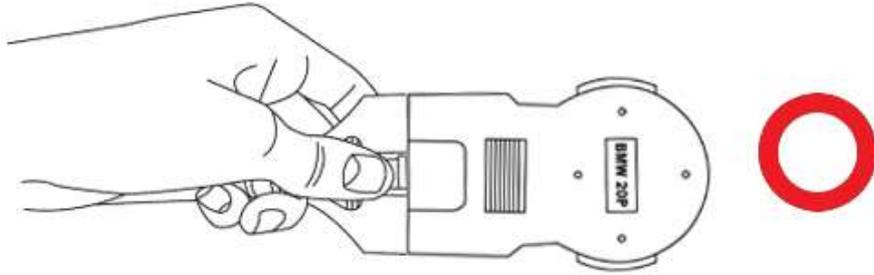
〈図:BMW 20Pとの接続〉

※注意と補足※

- ・ BMW 20Pはオプション別売です。

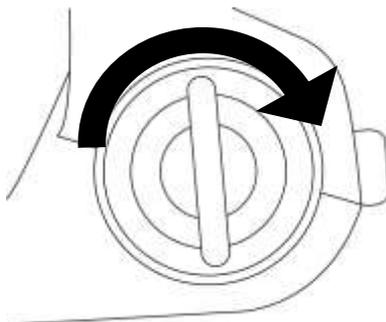


警告



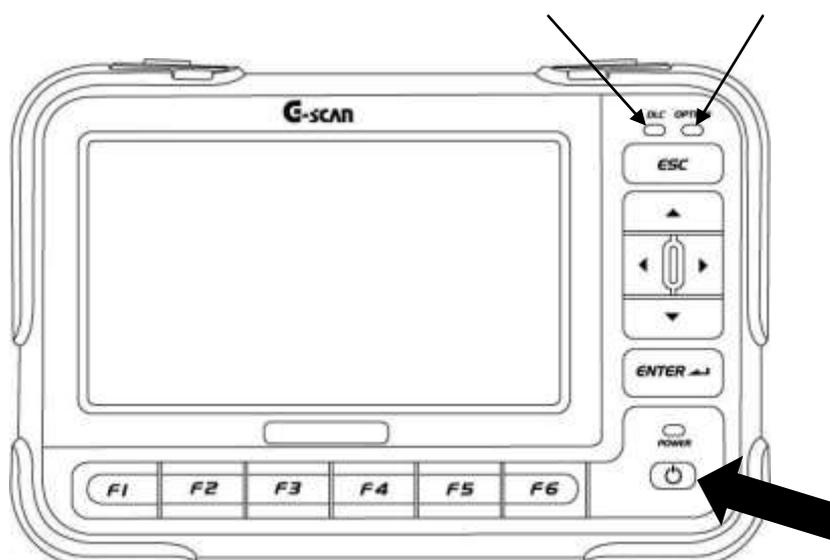
BMW 20PからDLCメインケーブルを取り外すとき、ワイヤを引っ張ったり、曲げたりしないでください。ケーブルやコネクタに損害を与える場合があります。必ずつまみを押しながら取り外してください。

- 1) 車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



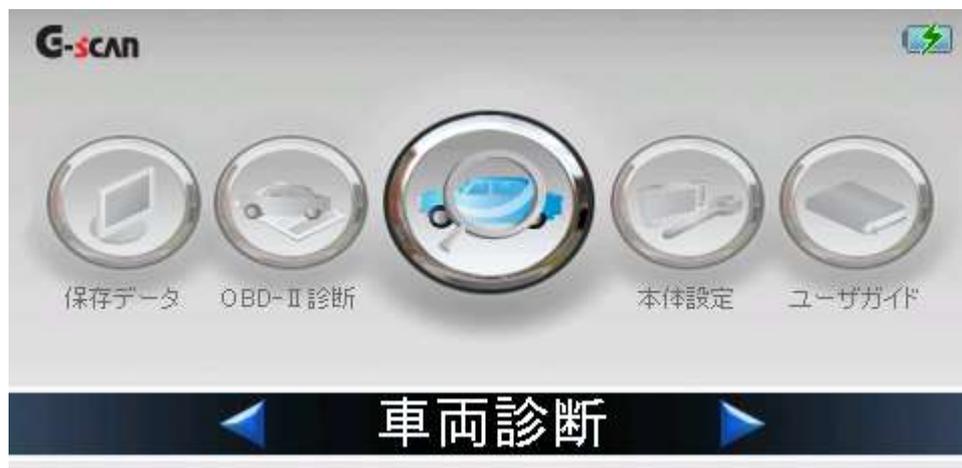
〈図:IG SW ONまたはエンジン始動〉

- 2) G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がONします。



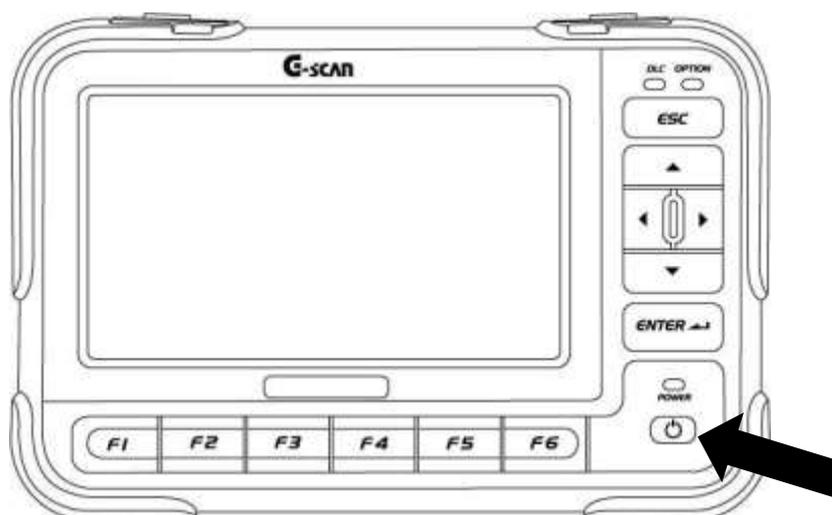
〈図:電源ON〉

3) G-scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。



〈図: G-scanメイン画面〉

4) 電源をOFFする場合は、上記のG-scanメイン画面を表示した状態で、電源ON/OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G-scanの電源がOFFします。



〈図: 電源OFF〉

- 1) G-scanメイン画面において『車両診断』を選択して、ボタンを押してください。



〈図: 車両診断を選択〉

- 2) メーカー選択画面が表示されます。BMWを選択して、ボタンをタッチ、又はボタンを押してください。



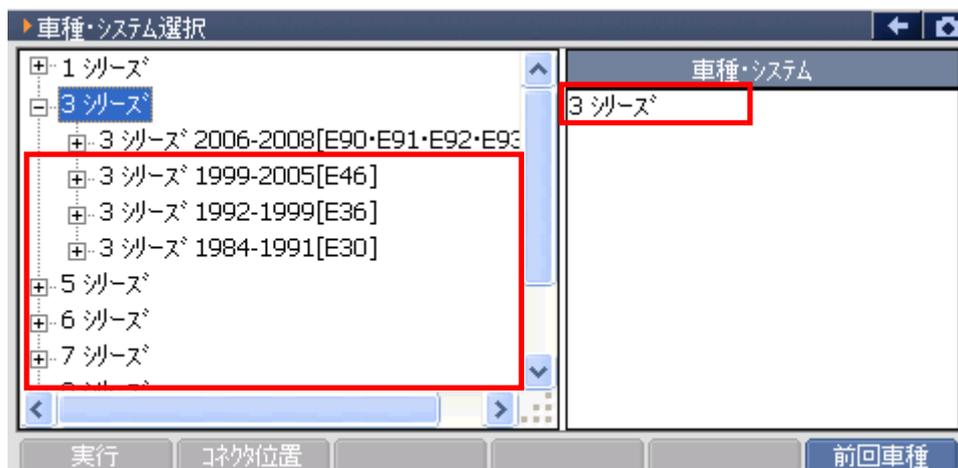
〈図: メーカー選択画面〉

3) 車種・システム選択画面が表示されます。



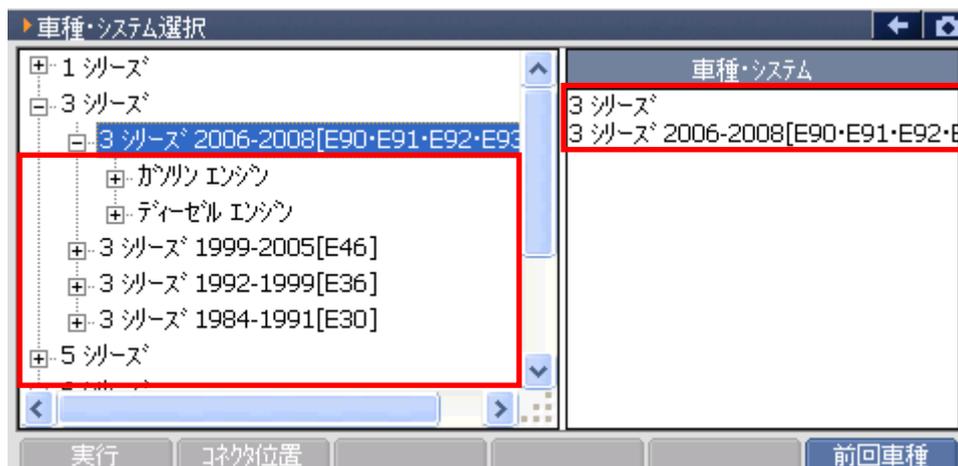
〈図:車種・システム選択画面〉

4) 診断する車種を選択して **ENTER** ボタンを押してください。
車種の下に年式と開発コード(E46など)が表示されます。

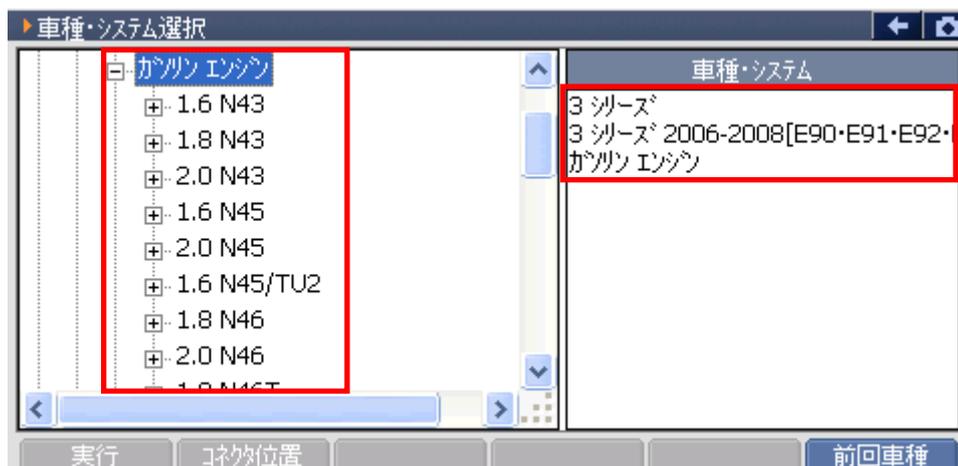


〈図:車種を選択〉

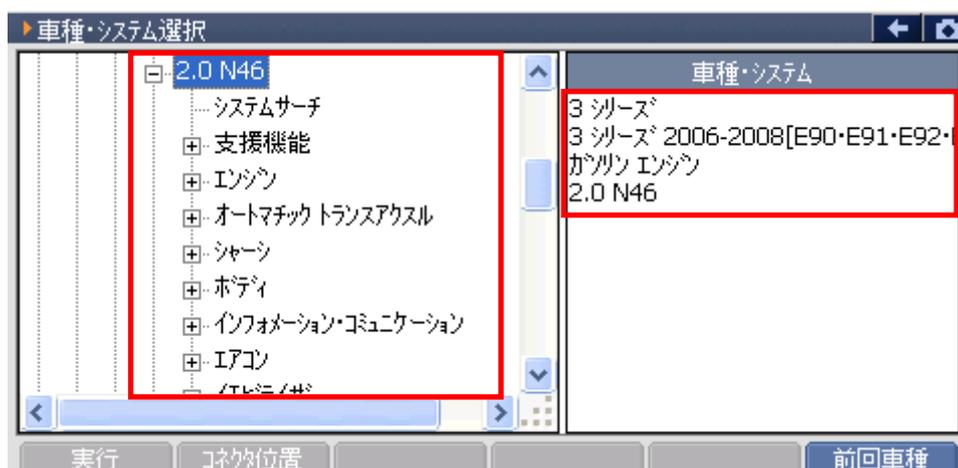
5) 車両の年式[開発コード]、エンジン種別、エンジン型式を選択してください。



〈図:年式[モデル]を選択〉



〈図:エンジン種別を選択〉

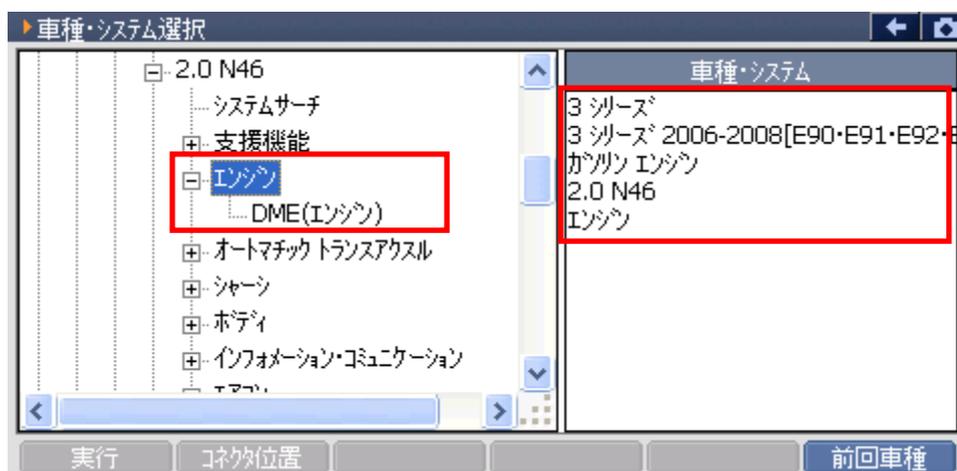


〈図:エンジン型式を選択〉

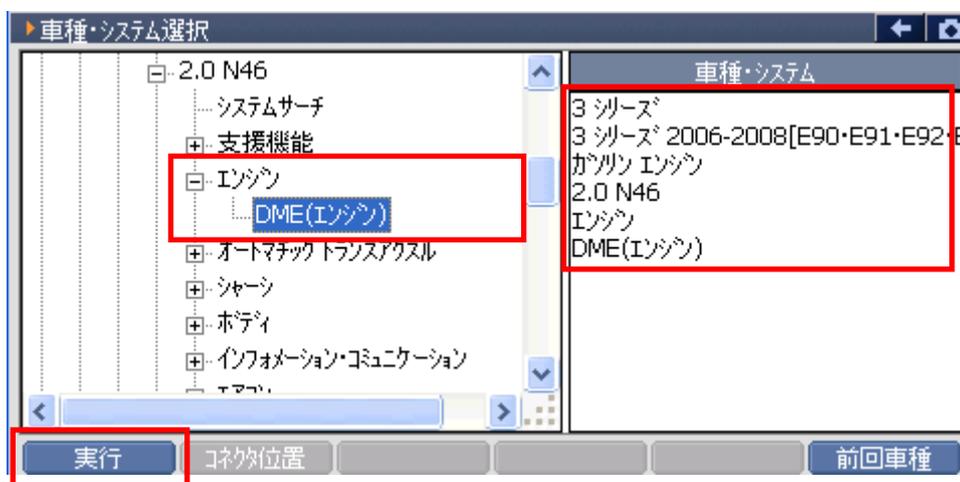
6) エンジン型式の選択が完了したら、システム、システムの詳細を選択し、

実行 ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。

診断メニューが表示されます。



〈図:システムを選択〉



〈図:システムの詳細を選択〉

※補足※

- ・ 車種・システム選択画面で **前回車種** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと、前回選択した車種、システムが自動で選択されます。

7) 車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。



〈図: 診断メニュー画面〉

※注意と補足※

- ・ 上記の診断メニューは 3シリーズ → 3シリーズ 2006-2008[E90・E91・E92・E93] → ガソリンエンジン → 2.0 N46 → エンジン → DME(エンジン) を選択した例です。
- ・ 診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。
- ・ 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと上記故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。

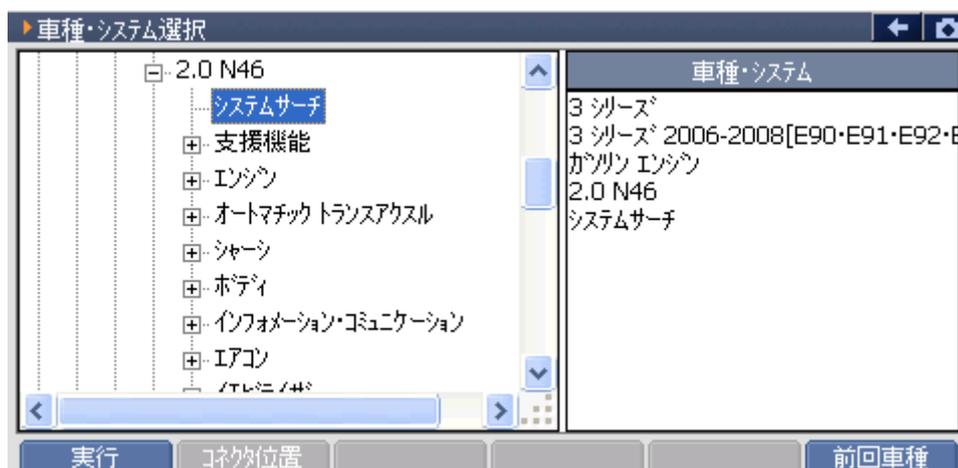
※システムサーチについて

- ・ システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

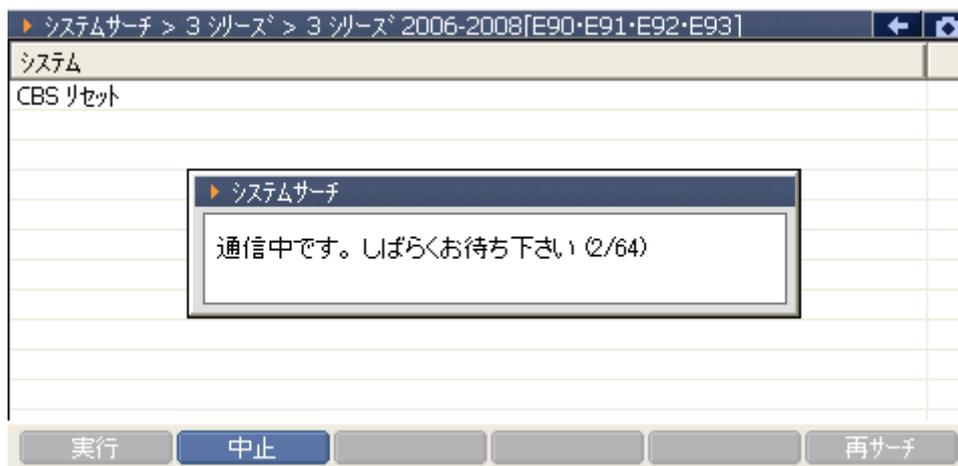
システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧を表示します。

システム一覧から、システムサーチを選択後 **実行** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、7)の診断メニューが表示されます。

再サーチ ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと再度システムサーチを行います。



〈図:システムサーチ選択〉



〈図:システムサーチ実行中〉

※注意と補足※

- ・ 一部の車両ではシステムサーチ機能に対応していない場合があります。

診断機能

自己診断機能.....	P27
データ表示機能.....	P29
保存データ表示機能.....	P46
アクティブテスト機能.....	P54
リセット機能.....	P58
サービスリセット機能.....	P59
CBSリセット機能.....	P68
作業サポート機能.....	P72
識別情報表示機能.....	P75

1) 診断メニューにおいて『自己診断』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて自己診断を選択〉

2) 自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



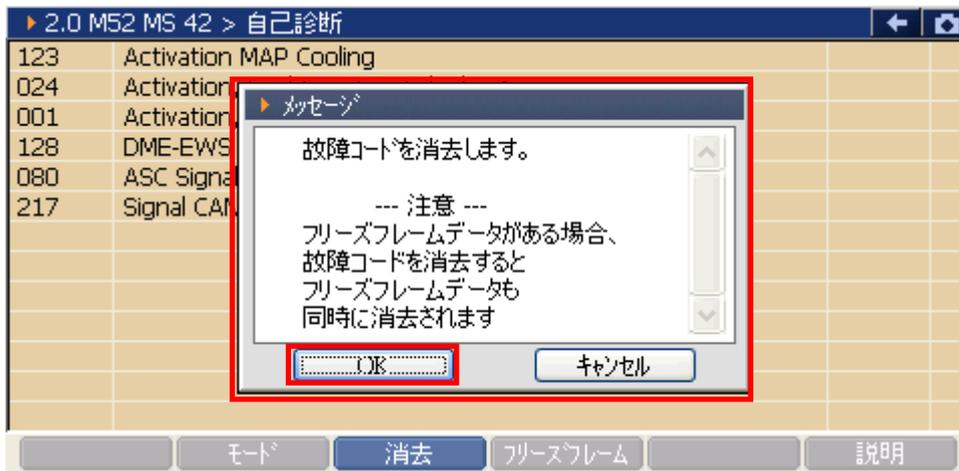
〈図: 自己診断画面〉

故障コード : BMW独自の故障コードNo.、又はSAEコード(例:P0135)が表示されます。

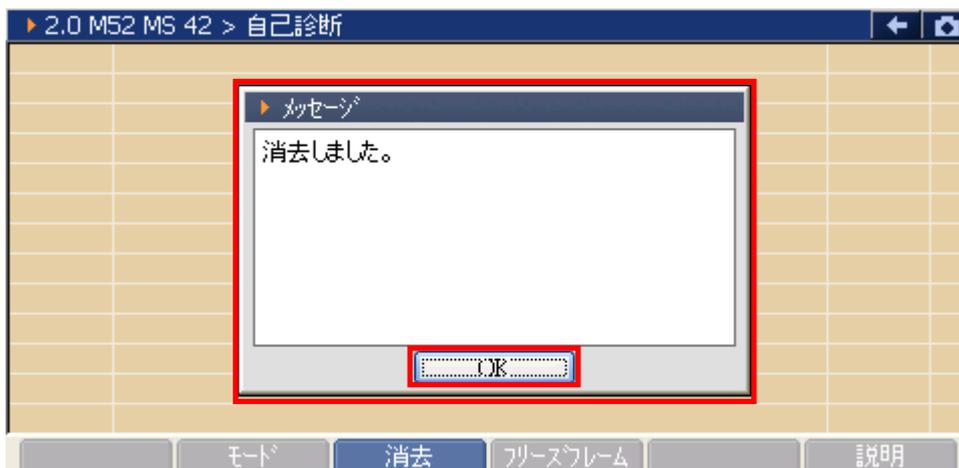
故障系統名 : 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、BMWのサービスマニュアルをご参照さい。

消去 自己診断記憶を消去します。【詳細は28を参照】

- 3) **消去** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押すと故障コードを消去します。
以下の画面が表示されますので、**OK** ボタンをタッチして故障コードを消去してください。

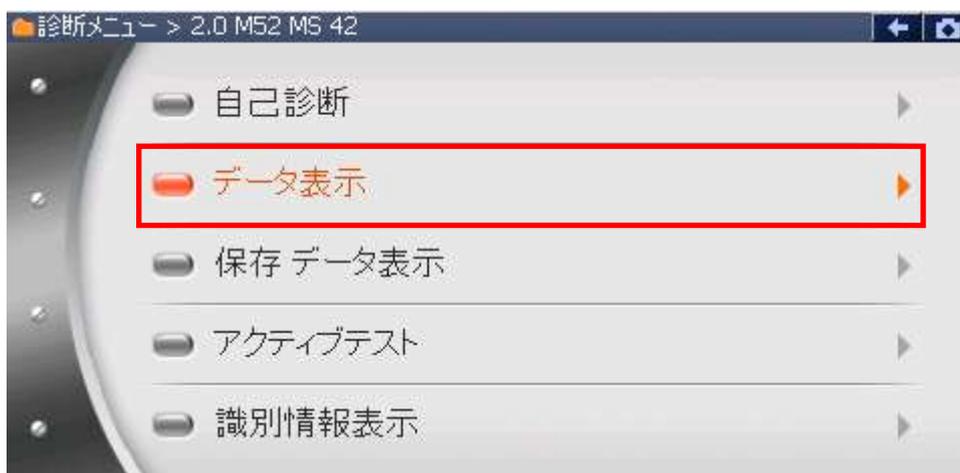


〈図: 故障コードの消去〉



〈図: 故障コードの消去完了〉

1) 診断メニューにおいて『データ表示』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにてデータ表示を選択〉

2) データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。

項目名 現在値 単位

項目名	現在値	単位	項目名	現在値	単位
Engine Speed	0	rpm	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
Close Loop Control 1	OFF	-	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
Close Loop Control 2	OFF	-	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
CAT Heating	OFF	-	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	O2 Sensor Adaptat...	1.0	-
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	O2 Sensor Adaptat...	1.0	-
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	Mixture Adaptation...	-0.1	mS
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	Mixture Adaptation...	-0.1	mS
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Mixture Adaptation...	-3.5	%
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Mixture Adaptation...	-3.4	%
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Vehicle Speed	0	Km/h
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Battery Voltage	12.0	V

Navigation buttons: << 1/8 2/8 >> 機能 1画面詳細 記録 選択項目

〈図: データ表示画面〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

単位 : 単位が表示されます。

 前のページを表示します。

 次のページを表示します。

 機能 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP33を参照】

 1画面詳細 1画面表示に切替えます。【詳細はP34を参照】

 記録 データを記録します。【詳細はP37を参照】

 選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP43を参照】

※注意と補足※

- ・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

- 3) **1画面詳細** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと2画面で表示されていたデータを1画面に表示することができます。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Engine Speed	0	rpm	0	0
Close Loop Control 1	OFF	-	-	-
Close Loop Control 2	OFF	-	-	-
CAT Heating	OFF	-	-	-
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor Heater-B1S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B1S2	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S2	0.0	V	0.0	0.0

〈図: データ表示画面 1画面表示〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

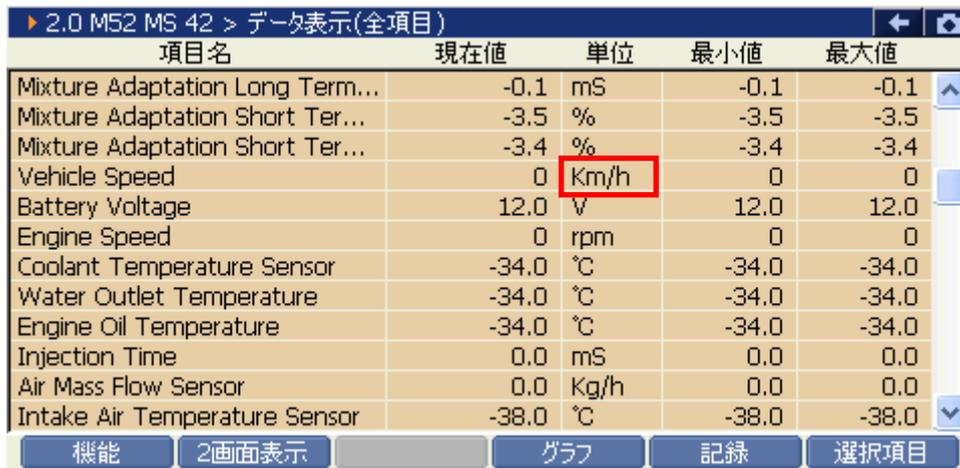
単位 : 単位が表示されます。

最大値/最小値 : 最大値と最小値が表示されます。

- 機能** 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP33エラー! ブックマークが定義されていません。を参照】
- 2画面表示** 2画面表示に切替えます。
- グラフ** 数値で表示されているデータをグラフで表示します【詳細はP35を参照】
- 記録** データを記録します。【詳細はP37を参照】
- 選択項目** 表示する項目を選択します。【詳細はP43を参照】

※注意と補足※

- 『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以下の画面が表示され、単位を変更することができます。



項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Mixture Adaptation Long Term...	-0.1	mS	-0.1	-0.1
Mixture Adaptation Short Ter...	-3.5	%	-3.5	-3.5
Mixture Adaptation Short Ter...	-3.4	%	-3.4	-3.4
Vehicle Speed	0	Km/h	0	0
Battery Voltage	12.0	V	12.0	12.0
Engine Speed	0	rpm	0	0
Coolant Temperature Sensor	-34.0	°C	-34.0	-34.0
Water Outlet Temperature	-34.0	°C	-34.0	-34.0
Engine Oil Temperature	-34.0	°C	-34.0	-34.0
Injection Time	0.0	mS	0.0	0.0
Air Mass Flow Sensor	0.0	Kg/h	0.0	0.0
Intake Air Temperature Sensor	-38.0	°C	-38.0	-38.0

〈図: 単位をタッチ〉



単位

<input type="radio"/> inHg	<input type="radio"/> °F	<input type="radio"/> MPH	<input type="radio"/> lb/h
<input type="radio"/> psi	<input type="radio"/> °C	<input checked="" type="radio"/> km/h	<input type="radio"/> lb/m
<input type="radio"/> mbar			<input type="radio"/> gm/s
<input type="radio"/> bar			
<input type="radio"/> kPa			
<input type="radio"/> MPa			
<input type="radio"/> mmHg			

OK キャンセル

〈図: 単位変更画面〉

機能 ボタンの詳細

- ① 機能 ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと以下の画面が表示されます。

▶ 2.0 M52 MS 42 > データ表示(全項目)

Engine Speed	0	rpm	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
Close Loop Control 1	OFF	-	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
Close Loop Control 2	OFF	-	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
CAT Heating	OFF	-	O2 Sensor Heater-...	0.0	%
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	O2 Sensor Adaptat...	1.0	-
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	O2 Sensor Adaptat...	1.0	-
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	Mixture Adaptation...	-0.1	mS
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	Mixture Adaptation...	-0.1	mS
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Mixture Adaptation...	-3.5	%
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Mixture Adaptation...	-3.4	%
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Vehicle Speed	0	Km/h
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Battery Voltage	12.0	V

最大最小値リセット 2/8

機能 1画面詳細 記録 選択項目

〈図:2画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

▶ 2.0 M52 MS 42 > データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Engine Speed	0	rpm	0	0
Close Loop Control 1	OFF	-	-	-
Close Loop Control 2	OFF	-	-	-
CAT Heating	OFF	-	-	-
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor Heater-B1S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B1S2	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S2	0.0	V	0.0	0.0

最大最小値無し 2
最大最小値リセット 1

機能 2画面表示 グラフ 記録 選択項目

〈図:1画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

最大最小値無し : 最大値、最小値の列を非表示にします。
『最大最小値無し』は1画面表示状態のみ表示されます。

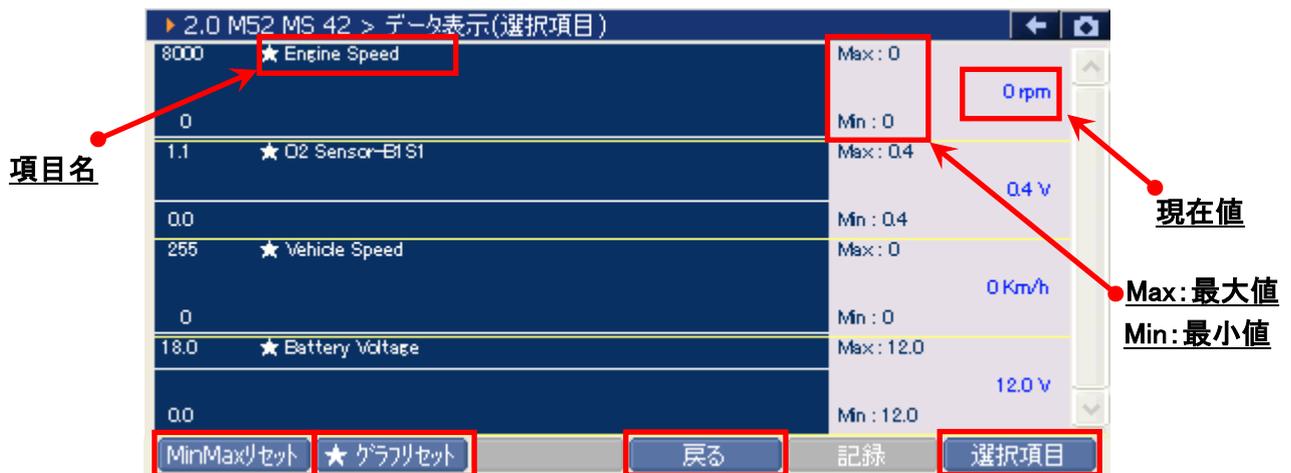
最大最小値リセット : 最大値、最小値をリセットします。

グラフ ボタンの詳細

- ① 1画面表示状態で画面下部の **グラフ** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Engine Speed	0	rpm	0	0
Close Loop Control 1	OFF	-	-	-
Close Loop Control 2	OFF	-	-	-
CAT Heating	OFF	-	-	-
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor Heater-B1S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B1S2	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S2	0.0	V	0.0	0.0

〈図:1画面表示状態〉



〈図:グラフ表示画面〉

項目名 : 項目名が表示されます。

現在値 : 現在値が表示されます。

Max/Min : 最大値/最小値が表示されます。

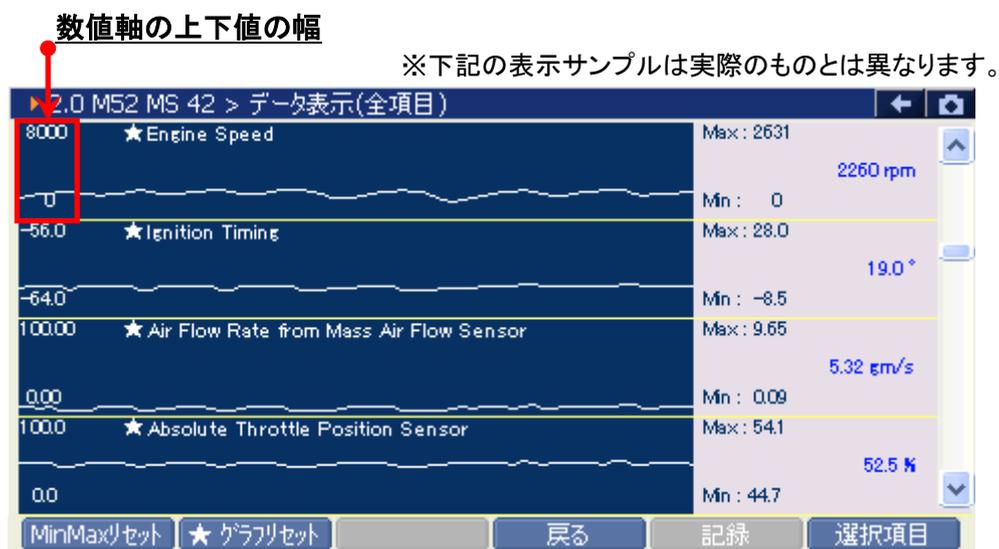
MinMaxリセット 最大値、最小値をリセットします。

★ グラフリセット グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP35を参照】

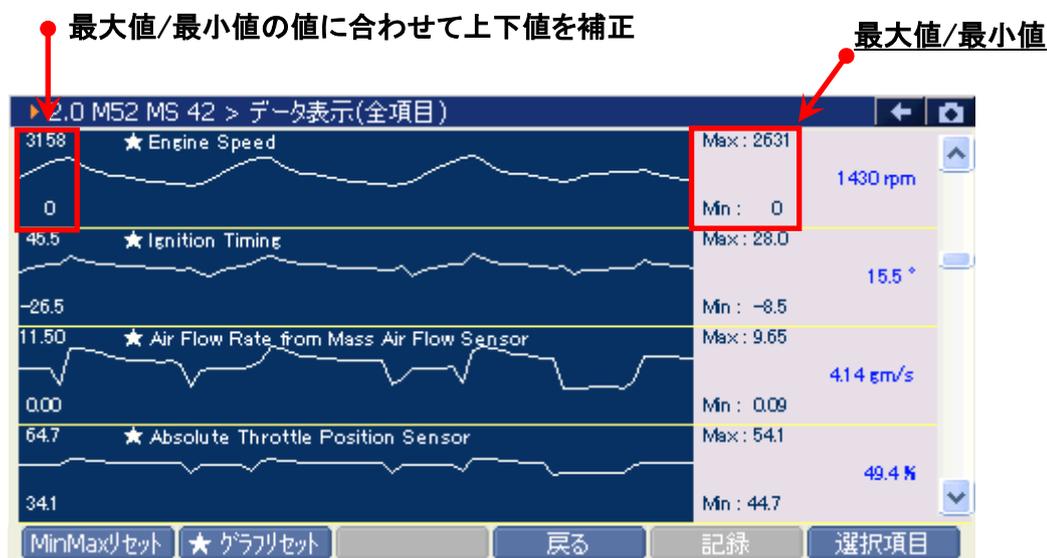
戻る 数値表示に戻ります。

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP43を参照】

- ② グラフ表示画面で画面下部の **★グラフィセット** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフィセットを実行した時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。



〈図:グラフィセット前〉



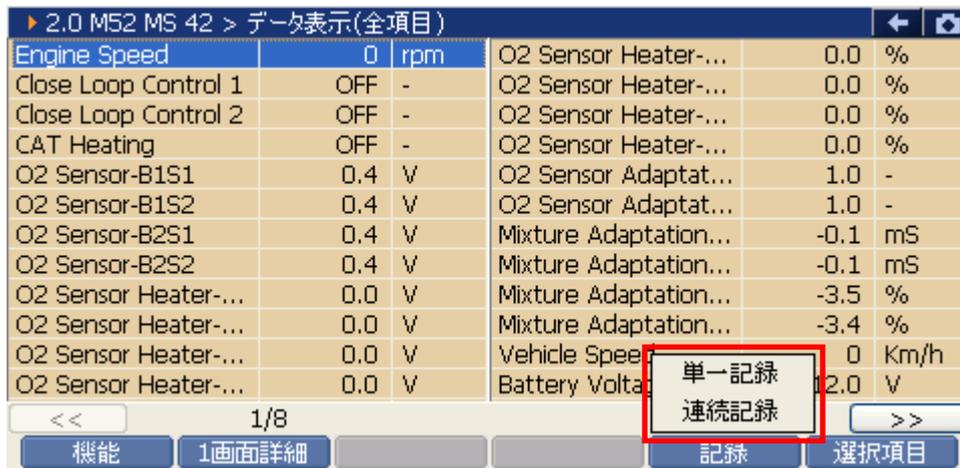
〈図:グラフィセット後〉

※注意と補足※

- ・ グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- ・ 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。
その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

記録 ボタンの詳細

- ① 記録 ボタンをタッチ、又は **F5** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



2.0 M52 MS 42 > データ表示(全項目)					
Engine Speed	0	rpm	O2 Sensor Heater...	0.0	%
Close Loop Control 1	OFF	-	O2 Sensor Heater...	0.0	%
Close Loop Control 2	OFF	-	O2 Sensor Heater...	0.0	%
CAT Heating	OFF	-	O2 Sensor Heater...	0.0	%
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	O2 Sensor Adaptat...	1.0	-
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	O2 Sensor Adaptat...	1.0	-
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	Mixture Adaptation...	-0.1	mS
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	Mixture Adaptation...	-0.1	mS
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Mixture Adaptation...	-3.5	%
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Mixture Adaptation...	-3.4	%
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Vehicle Speed	0	Km/h
O2 Sensor Heater-...	0.0	V	Battery Voltage	12.0	V

<< 1/8 >>

機能 1画面詳細 記録 選択項目

〈図: 2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉



2.0 M52 MS 42 > データ表示(全項目)				
項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Engine Speed	0	rpm	0	0
Close Loop Control 1	OFF	-	-	-
Close Loop Control 2	OFF	-	-	-
CAT Heating	OFF	-	-	-
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B1S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor-B2S2	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor Heater-B1S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B1S2	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B2S2	0.0	V	0.0	0.0

機能 2画面表示 グラフ 記録 選択項目

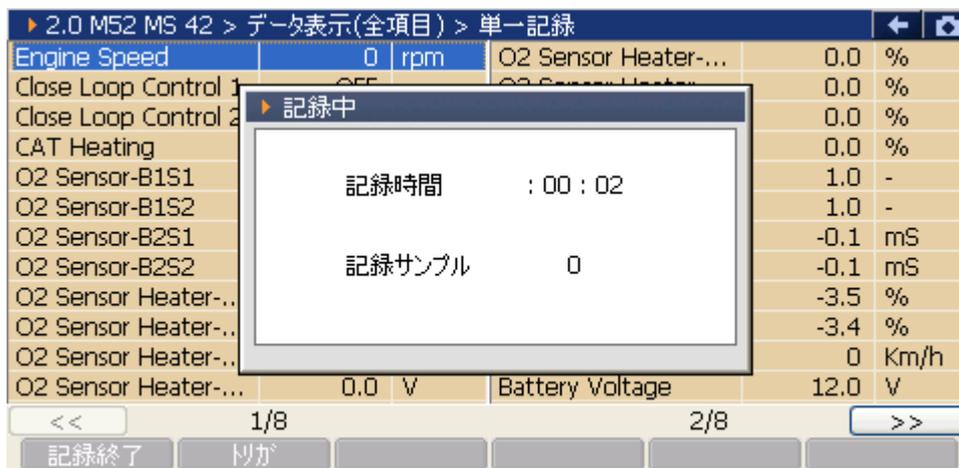
〈図: 1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

単一記録 : 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP38を参照】

連続記録 : 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP41を参照】
最大記録時間は60分です。

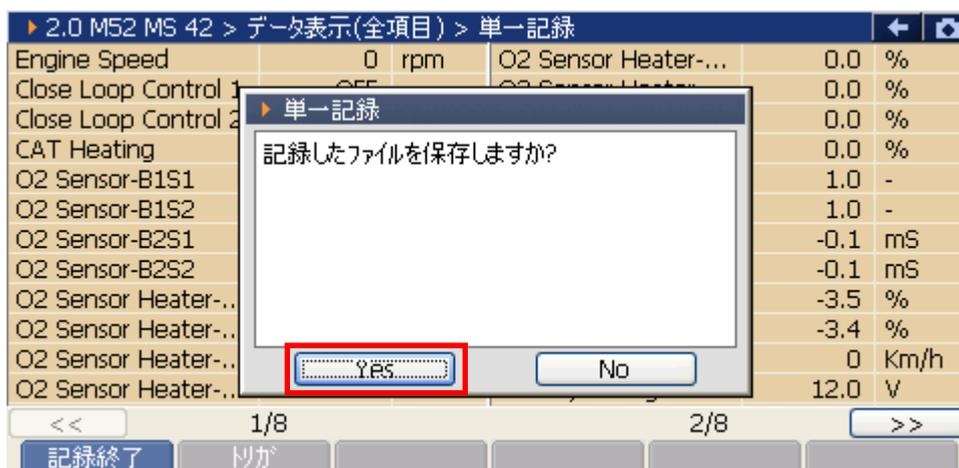
② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。



〈図: 単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。 を選択してファイルを保存してください。 を選択した場合、記録したデータは失われ閲覧することはできません。



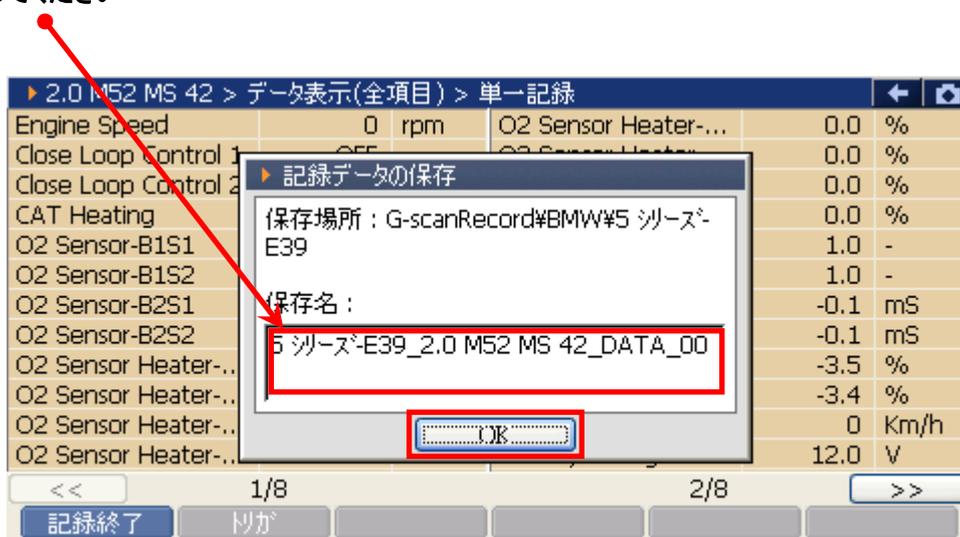
〈図: 記録完了後ファイルの保存確認〉

④ 保存ファイル名の確認画面が表示されます。

よろしければ、 をタッチして記録データを保存してください。

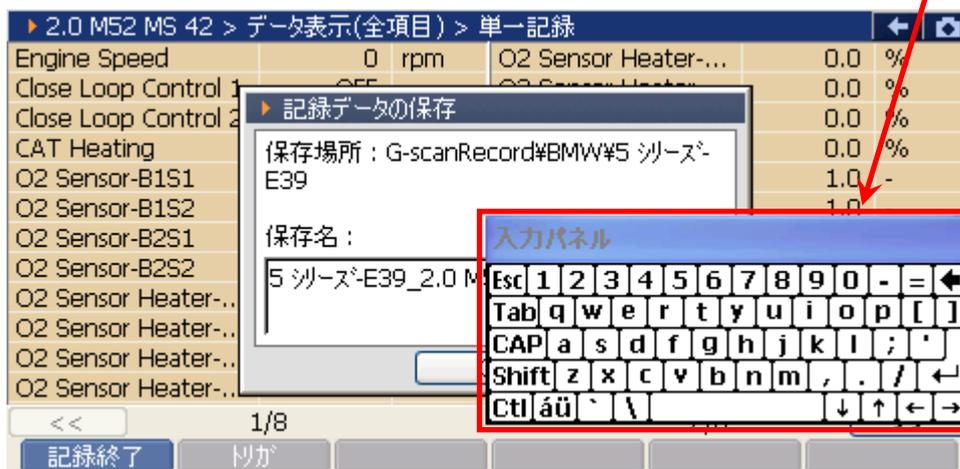
ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチしてください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変更してください。

ファイル名を変更する場合は
タッチしてください



〈図: 保存ファイル名の確認〉

入力パネル



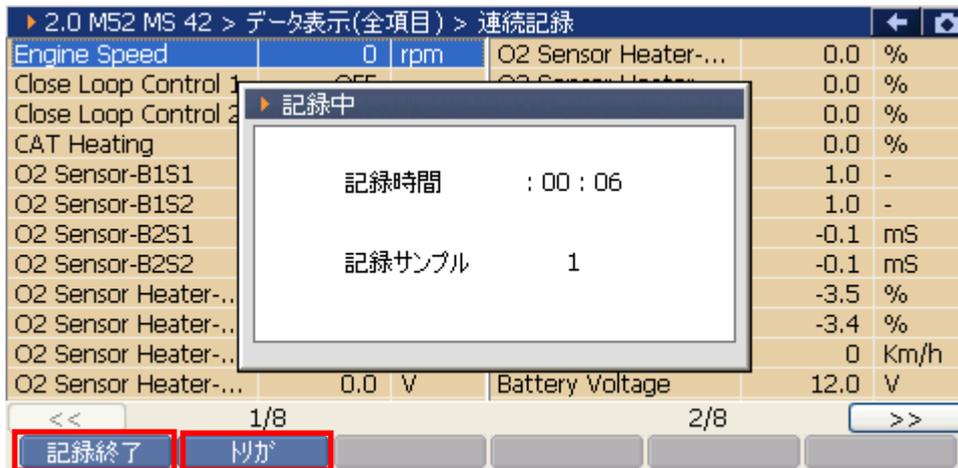
〈図: 保存ファイル名の変更〉

- ⑤ ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。
詳細に関してはP46をご参照ください。

サンプル	Engine Speed (rpm)	Close Loop Control 1	Close Loop Control 2	CAT Heating
0	0	OFF	OFF	OFF

〈図: 保存データ表示画面〉

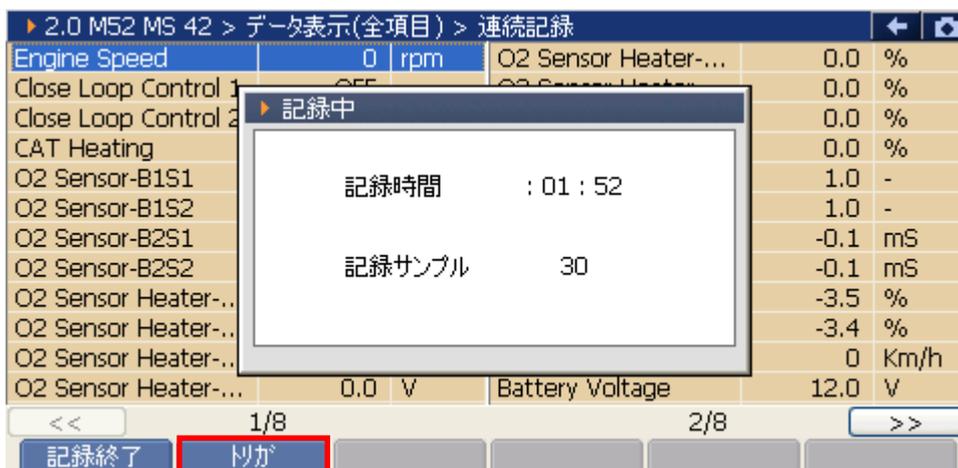
- ⑥ 『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。
『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。



〈図:連続記録で記録中〉

- トリガ** トリガ機能を使用します。【詳細は41を参照】
- 記録終了** 記録を終了します。【詳細はP42を参照】

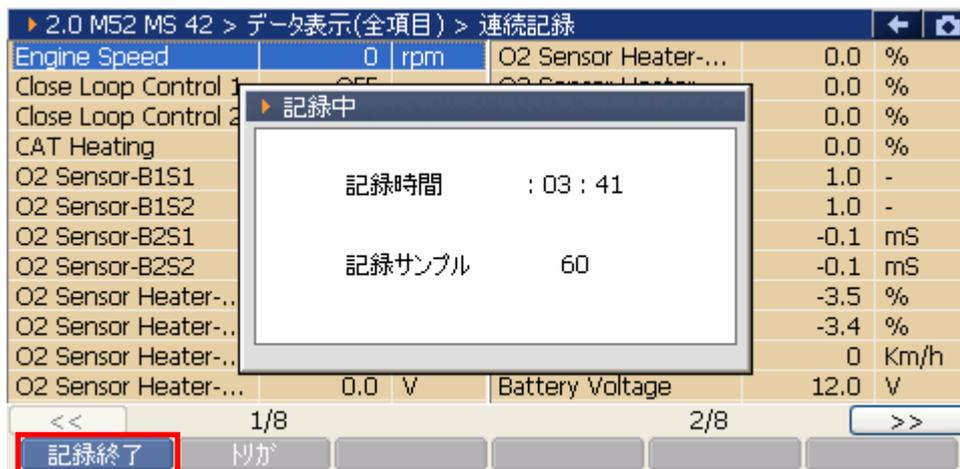
- ⑦ 記録中に **トリガ** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押すとトリガ機能を使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前(-1.-2.-3サンプル.....)、トリガ後(1.2.3サンプル.....)のデータを記録することができます。



〈図:トリガボタンを選択〉

- ⑧ 記録を終了する場合は、**記録終了** ボタンをタッチ又は **FI** ボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで (0サンプル～.....) のデータを記録します。

記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP46エラー! ブックマークが定義されていません。をご参照ください。



〈図: 記録終了〉

- ⑨ ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。詳細に関してはP46をご参照ください。

サンプル	Engine Speed (rpm)	Close Loop Control 1	Close Loop Control 2	CAT Heating
-5	0	OFF	OFF	OFF
-4	0	OFF	OFF	OFF
-3	0	OFF	OFF	OFF
-2	0	OFF	OFF	OFF
-1	0	OFF	OFF	OFF
0	0	OFF	OFF	OFF
1	0	OFF	OFF	OFF
2	0	OFF	OFF	OFF
3	0	OFF	OFF	OFF
4	0	OFF	OFF	OFF

〈図: 保存データ表示画面〉

■ 選択項目 ボタンの詳細

- ① **選択項目** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図: 表示項目の選択〉

選択項目一覧 : 項目名が表示されます。

項目一覧 : 項目一覧が表示されます。

選択終了 選択を終了します。

- ② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ、**ENTER** ボタンを押して表示する項目を選択してください。**◀ ▶** ボタンを押すと次のページを表示します。尚、選択できる項目は最大で12項目です。



〈図: 表示項目の選択〉

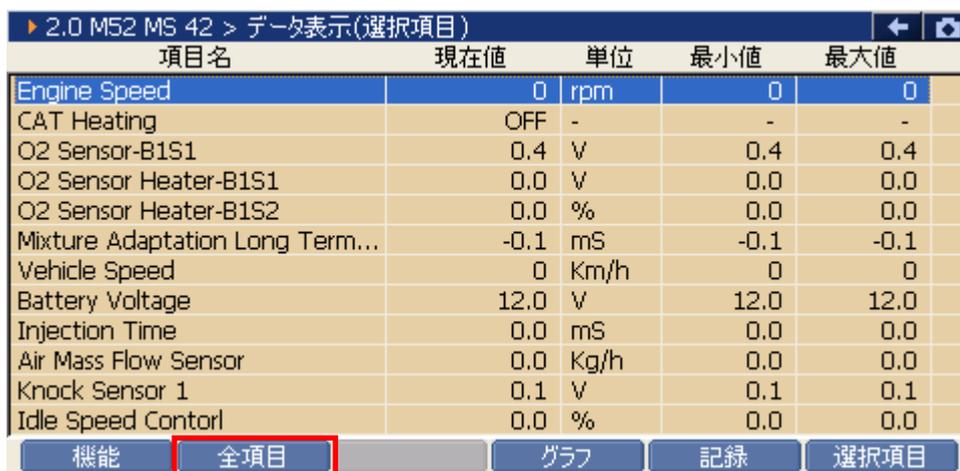
- ③ 項目の選択を終了する場合は、**選択終了** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押してください。



〈図: 選択の終了〉

④ データ表示画面に選択した項目が表示されます。

全項目の表示に戻す場合は、**全項目** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。

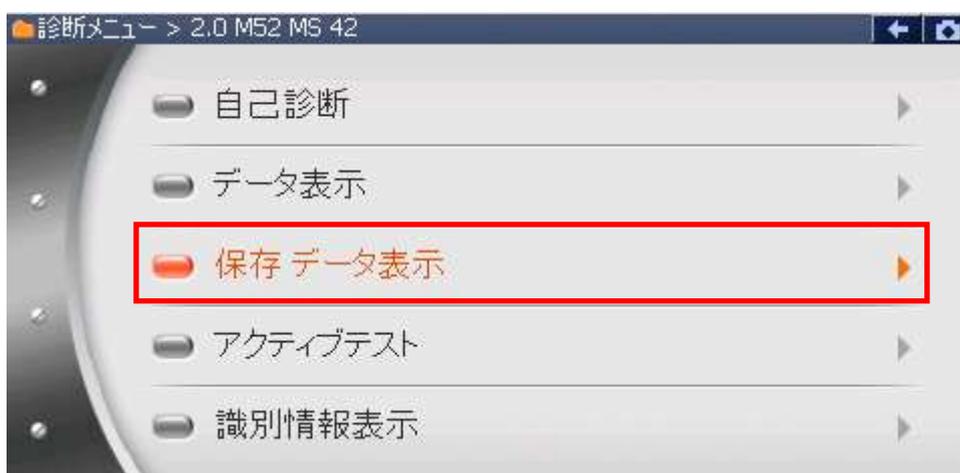


項目名	現在値	単位	最小値	最大値
Engine Speed	0	rpm	0	0
CAT Heating	OFF	-	-	-
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	0.4	0.4
O2 Sensor Heater-B1S1	0.0	V	0.0	0.0
O2 Sensor Heater-B1S2	0.0	%	0.0	0.0
Mixture Adaptation Long Term...	-0.1	mS	-0.1	-0.1
Vehicle Speed	0	Km/h	0	0
Battery Voltage	12.0	V	12.0	12.0
Injection Time	0.0	mS	0.0	0.0
Air Mass Flow Sensor	0.0	Kg/h	0.0	0.0
Knock Sensor 1	0.1	V	0.1	0.1
Idle Speed Control	0.0	%	0.0	0.0

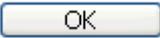
機能 **全項目** グラフ 記録 選択項目

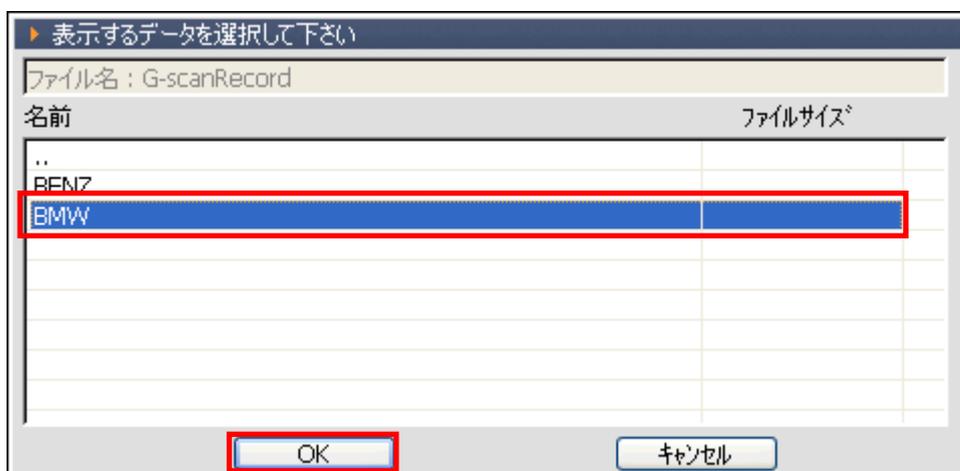
〈図: 選択項目の表示〉

- 1) 保存データ表示機能ではデータ表示機能で記録、保存したデータを表示することができます。診断メニューにおいて『保存データ表示』を選択して  ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて保存データ表示を選択〉

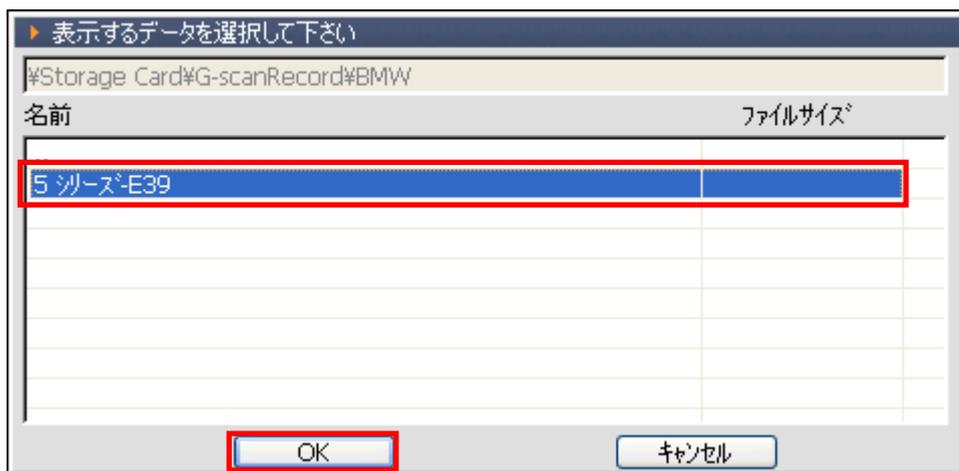
- 2) フォルダの選択画面が表示されるので、『BMW』フォルダを選択して  ボタンをタッチしてください。



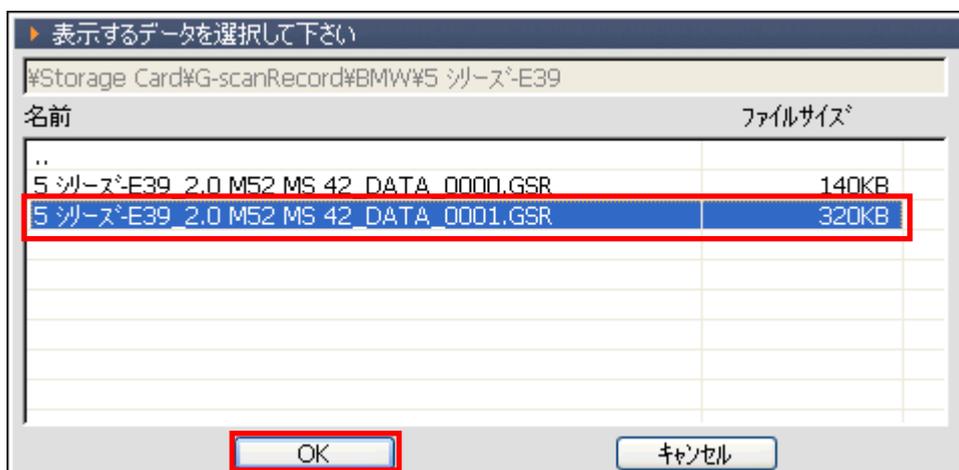
〈図：メーカーフォルダの選択〉

3) 車種名が記載されたフォルダの一覧が表示されます。

フォルダを選択して ボタンをタッチしてください。更に、保存ファイル名の一覧が表示されます。表示するファイル名を選択して ボタンをタッチしてください。



〈図: 車種名フォルダの選択〉



〈図: 保存ファイル一覧〉

4) データ表示で保存したデータが表示されます

サンプル	Engine Speed (rpm)	Close Loop Control 1	Close Loop Control 2	CAT Heating
-5	0	OFF	OFF	OFF
-4	0	OFF	OFF	OFF
-3	0	OFF	OFF	OFF
-2	0	OFF	OFF	OFF
-1	0	OFF	OFF	OFF
0	0	OFF	OFF	OFF
1	0	OFF	OFF	OFF
2	0	OFF	OFF	OFF
3	0	OFF	OFF	OFF
4	0	OFF	OFF	OFF

〈図：保存データ表示画面〉

サンプル : 記録数が表示されます。

記録項目名 : 項目名が表示されます。
項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。

記録値 : 値が表示されます。

トリガ移動

0サンプル位置に移動します。【詳細はP49エラー! ブックマークが定義されていません。を参照】

グラフ

記録したデータをグラフで表示します。【詳細はP50を参照】

データ情報

保存したデータの情報を表示します。【詳細はP53を参照】

トリガ移動 ボタンの詳細

- ① トリガ移動 ボタンをタッチ、又は  ボタンを押すと0サンプルの位置に移動します。



保存データ表示 > 5 シーズ-E39_2.0 M52 MS 42_DATA_0001.GSR

サンプル	Engine Speed (rpm)	Close Loop Contr ol 1	Close Loop Contr ol 2	CAT Heating
-30	0	OFF	OFF	OFF
-29	0	OFF	OFF	OFF
-28	0	OFF	OFF	OFF
-27	0	OFF	OFF	OFF
-26	0	OFF	OFF	OFF
-25	0	OFF	OFF	OFF
-24	0	OFF	OFF	OFF
-23	0	OFF	OFF	OFF
-22	0	OFF	OFF	OFF
-21	0	OFF	OFF	OFF

トリガ移動 グラフ データ情報

〈図:トリガ移動ボタンを選択〉



保存データ表示 > 5 シーズ-E39_2.0 M52 MS 42_DATA_0001.GSR

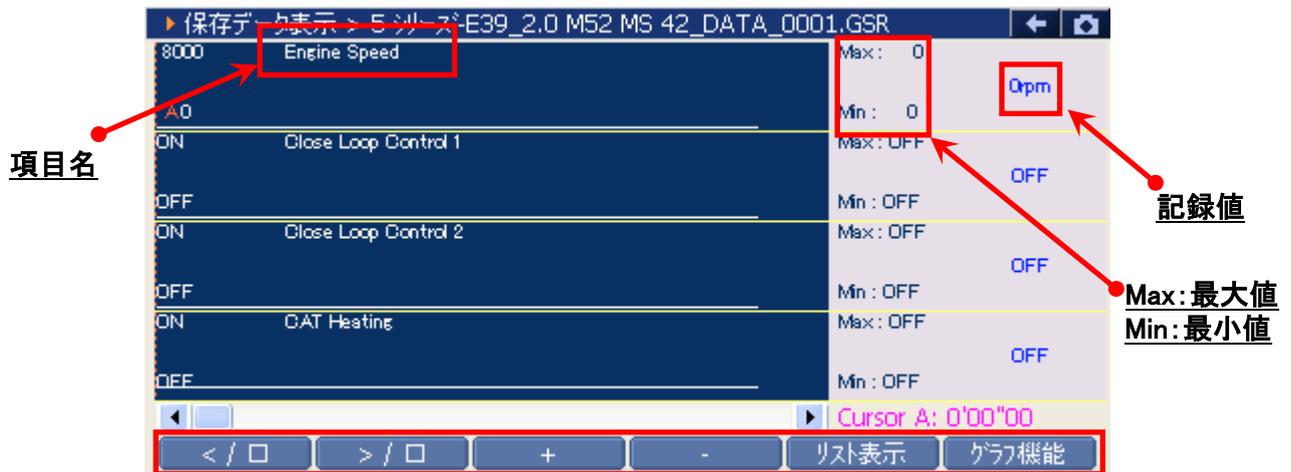
サンプル	Engine Speed (rpm)	Close Loop Contr ol 1	Close Loop Contr ol 2	CAT Heating
-5	0	OFF	OFF	OFF
-4	0	OFF	OFF	OFF
-3	0	OFF	OFF	OFF
-2	0	OFF	OFF	OFF
-1	0	OFF	OFF	OFF
0	0	OFF	OFF	OFF
1	0	OFF	OFF	OFF
2	0	OFF	OFF	OFF
3	0	OFF	OFF	OFF
4	0	OFF	OFF	OFF

トリガ移動 グラフ データ情報

〈図:0サンプル位置に移動〉

グラフ ボタンの詳細

- ① **グラフ** ボタンをタッチ、又は **F4** ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図: 記録データのグラフ表示〉

項目名 : 項目名が表示されます。

記録値 : カーソルA上の値が表示されます。

最大値/最小値 : 最大値、最小値が表示されます。

< / □ : グラフを左に送ります。

> / □ : グラフを右に送ります。

+ : グラフを拡大します。

- : グラフを縮小します。

リスト表示 : 数値表示に戻ります。

グラフ機能 : グラフ機能を使用します。【詳細はP51を参照】

- ② **グラフ機能** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図: グラフ機能の詳細〉

表示項目 : 表示する項目を選択します。【詳細は51を参照】

カーソルA移動 : コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP52を参照】

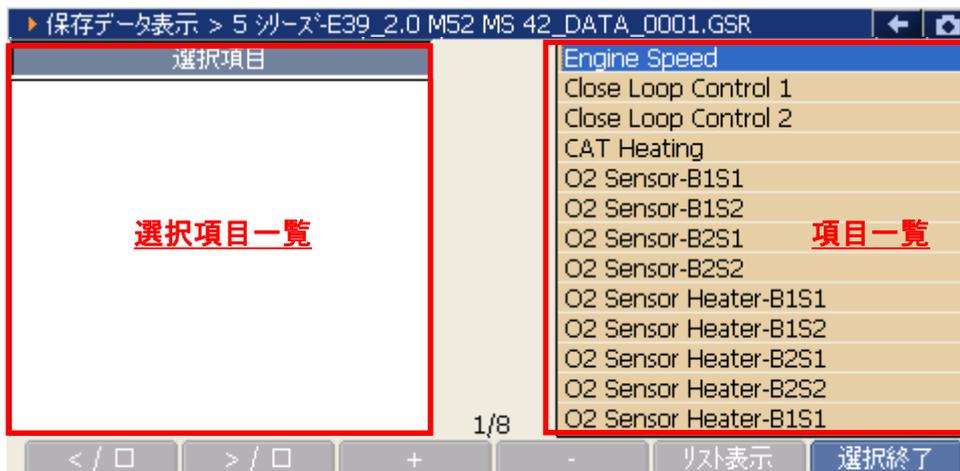
カーソルB移動 : コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP52を参照】

トリガ移動 : カーソルAをトリガ位置(0サンプルの位置)に移動します。

MinMaxリセット : 最大値、最小値をリセットします。

データ情報 : 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP53を参照】

- ③ 『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されますので、項目一覧から表示する項目にカーソルを合わせ **ENTER** ボタンを押して表示する項目を選択してください。 **左右** ボタンでページ移動します。最大で12項目を選択可能です。



〈図: 表示項目の選択〉

④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

  ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。



〈図:カーソルAの移動〉

⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。

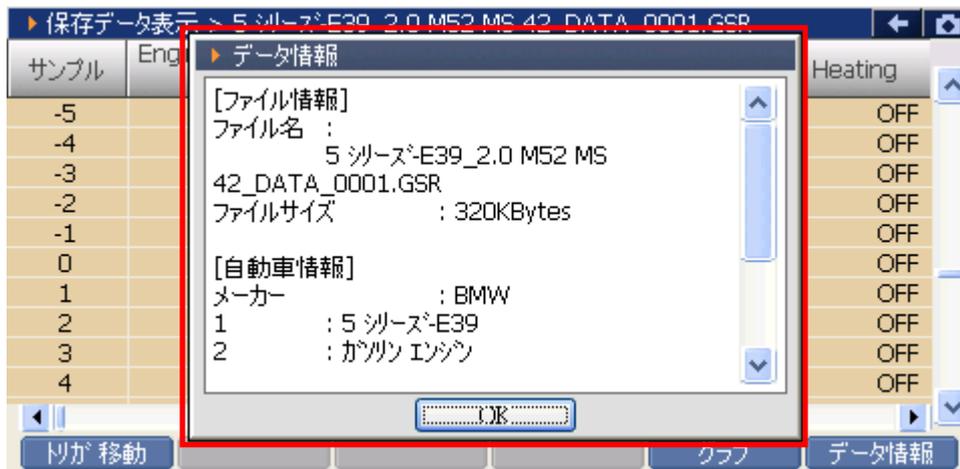
  ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



〈図:カーソルBを移動選択〉

データ情報 ボタンの詳細

- ① **データ情報** ボタンをタッチ、又は **F6** ボタンを押すか、**グラフ機能** 内の『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。



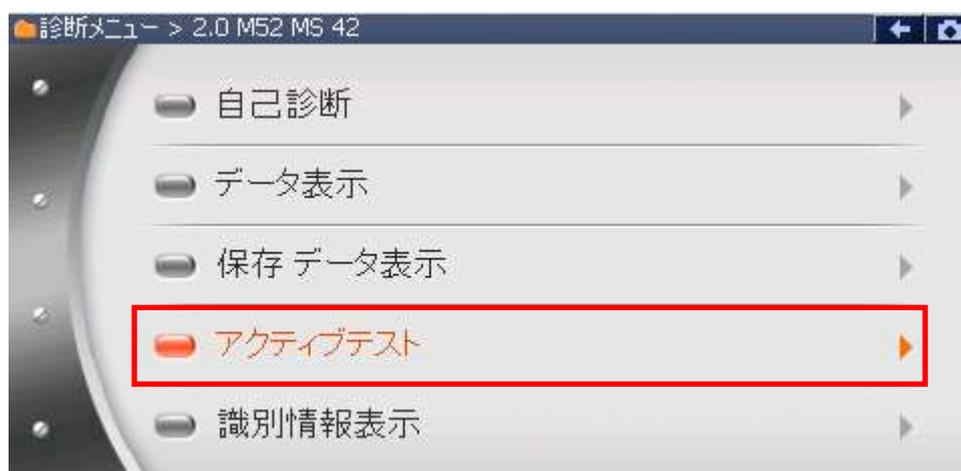
〈図: データ情報画面〉



警告

- アクティブテストはBMWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態(ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時)で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。(パーキングブレーキをかけて、輪留めをする)
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

- 1) 診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2) アクティブテスト画面が表示されます。



〈図: アクティブテスト画面〉

テスト状態表示部 : テスト状態が表示されます。

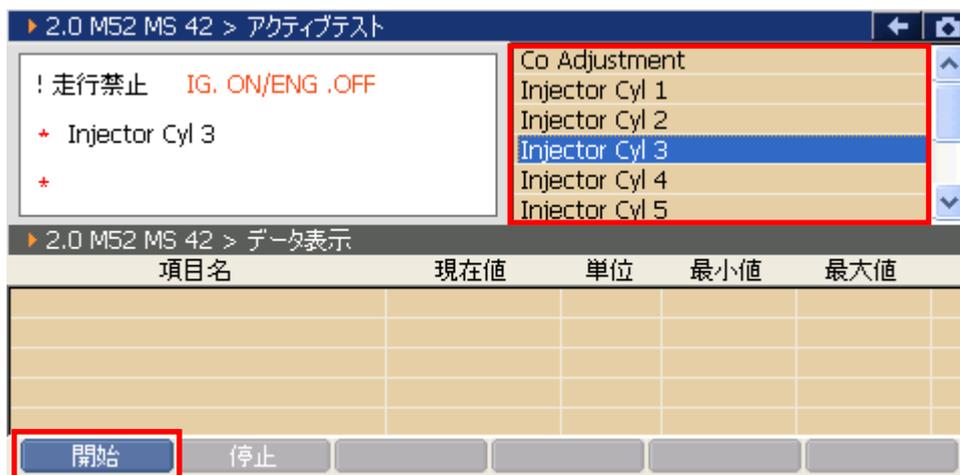
項目一覧 : アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

データ表示部 : アクティブテスト中のデータが表示されます。

開始

アクティブテストを開始します。【詳細はP56を参照】

3) アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、**開始** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。

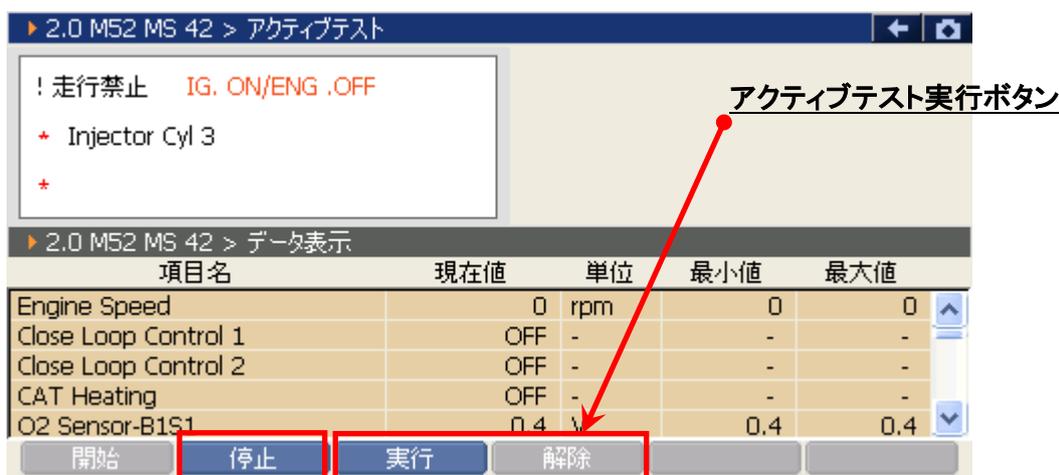


〈図: アクティブテスト開始〉

※注意と補足※

- ・ 実行できるアクティブテスト項目は車種、システムによって異なります。

4) アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は **停止** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。



〈図: Injector Cyl 3 アクティブテスト実行例〉

※注意と補足※

- ・ P56の画面はInjector Cyl3のアクティブテスト実行画面です。アクティブテスト実行ボタンに表示される内容は実行するアクティブテストによって異なります。

- ・ アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。

テスト条件を超えた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

『テスト失敗』と表示された場合、車両を以下の部分に表示された状態にして、再度アクティブテストを実行してください。

テスト条件

項目名	現在値	単位	最小値	最大值
Engine Speed	0	rpm	0	0
Close Loop Control 1	OFF	-	-	-
Close Loop Control 2	OFF	-	-	-
CAT Heating	OFF	-	-	-
O2 Sensor-B1S1	0.4	V	0.4	0.4

〈図: アクティブテスト失敗〉

リセット機能では、メータパネルに表示されるメンテナンス時期情報のリセットを行なうことができます。

なお、車両によってメンテナンス時期情報を管理しているシステムが異なり、SIA（サービス・インターバル・インジケータ）を搭載している車両では『サービスリセット』、CBS（コンディション・ベースド・サービス）を搭載している車両では『CBSリセット』を使用してメンテナンス時期情報のリセットを行います。

車両に搭載されているシステム	使用するリセット機能
SIA（サービス・インターバル・インジケータ）	サービスリセット 【詳細はP59を参照】
CBS（コンディション・ベースド・サービス）	CBSリセット 【詳細はP68を参照】



警告

- リセット機能はBMWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- リセット機能はメンテナンス時期が来た、または期限が過ぎた場合、警告が表示されたサービス項目を実施してください。



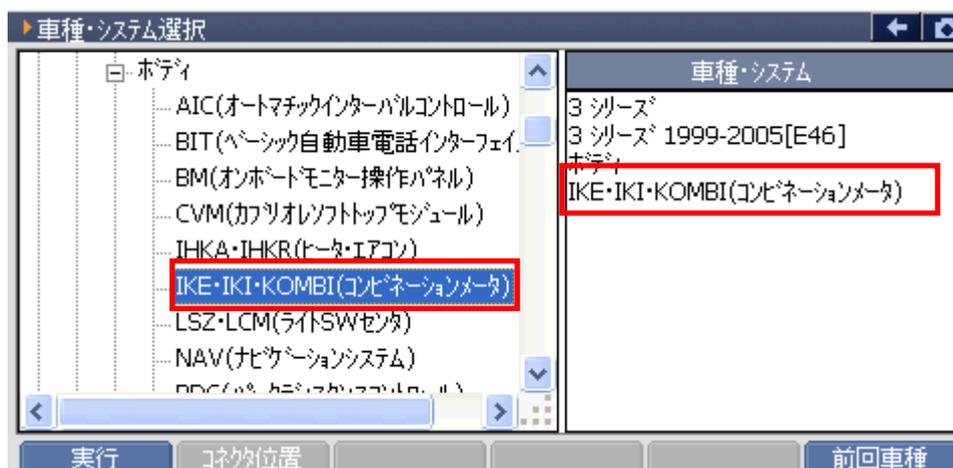
警告

- サービスリセットはBMWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- サービスリセットはメンテナンス時期が来た、または期限が過ぎた場合、警告が表示されたサービスリセット項目を実施してください。

『サービスリセット機能』は、SIA(サービス・インターバル・インジケータ)を搭載している車両のメンテナンス時期情報のリセットを行います。

※リセット機能の種別に関してはP61を参照してください。

車種・システム選択画面にて『ボディ』の『IKE・IKI・KOMBI(コンビネーションメータ)』を選択して  ボタンを押してください。診断メニューが表示されます。



〈図: 車種・システム選択画面にてIKE・IKI・KOMBI(コンビネーションメータ)を選択〉

※注意と補足※

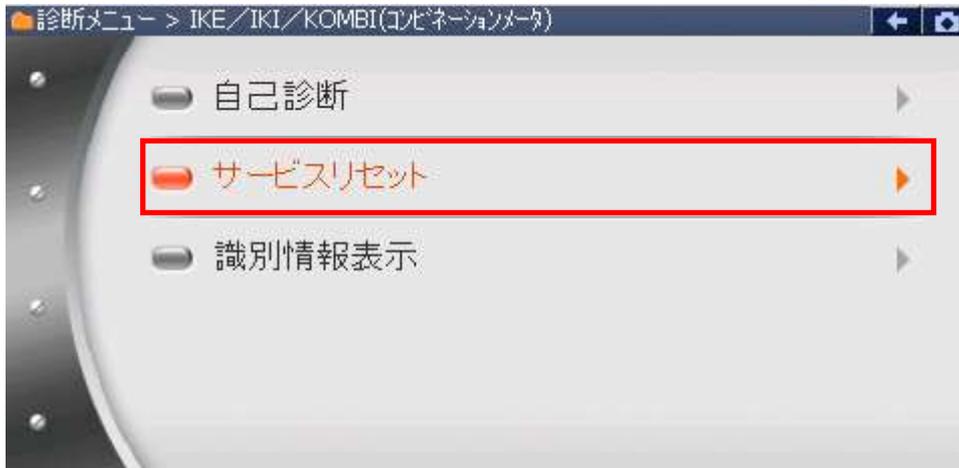
車種によっては、診断メニューに『サービスリセット』と表記されるものと
作業サポートメニューから『サービスリセット)』と表記されるものがあります。

診断メニューからのサービスリセット方法はP61を参照してください。

作業サポートメニューからのサービスリセット方法はP64を参照してください。

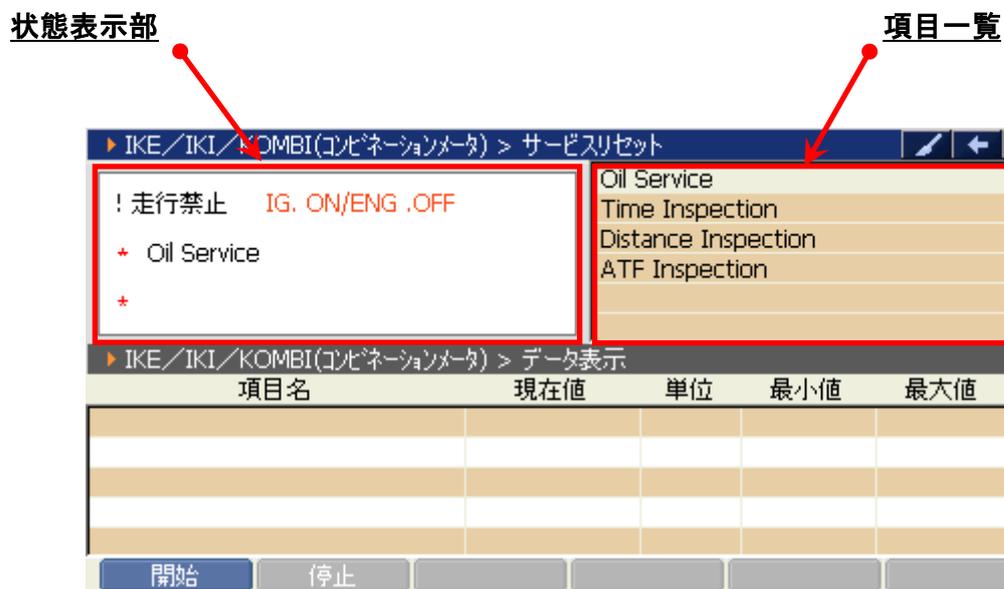
《診断メニューからのサービスリセット方法》

- 1) 診断メニューにおいて『サービスリセット』を選択して  ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにてサービスリセットを選択〉

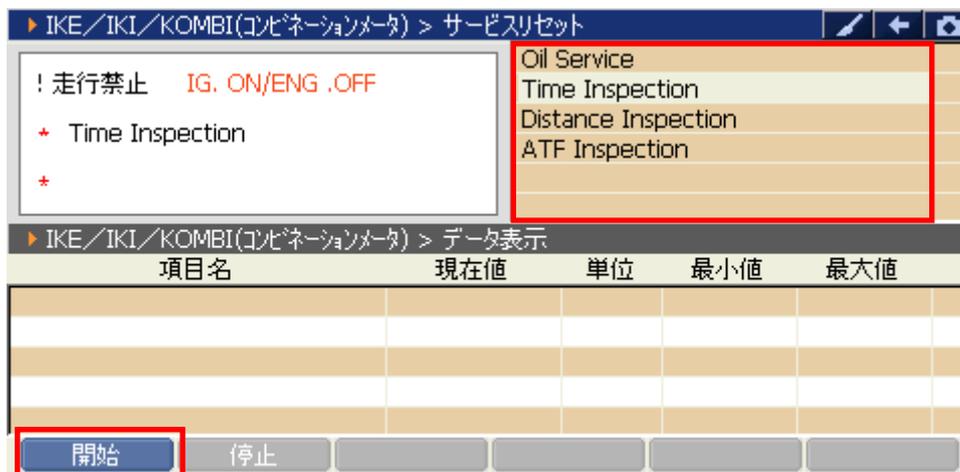
- 2) サービスリセット画面が表示されます。



〈図: サービスリセット画面〉

- 状態表示部** : サービスリセットの状態が表示されます。
- 項目一覧** : サービスリセット項目の一覧が表示されます。
-  **開始** : サービスリセットを開始します。【詳細は3)を参照】

- 3) サービスリセット項目一覧の中から実行する項目を選択して、**開始** ボタンをタッチ、又は **F1** ボタンを押してください。



〈図:リセット開始〉

- 4) 選択した項目のリセット画面に移ります。 **実行** ボタンをタッチ、又は **F3** ボタンを押してリセットを実行してください。



〈図:Time Inspection リセット実行例〉

5) リセットが正常に完了しますと『テスト終了』と表示されます。

リセットを終了する場合は **停止** ボタンをタッチ、又は **F2** ボタンを押してください。



〈図:リセット正常完了〉

※注意と補足※

- サービスリセットを行うにはリセット条件があります。

リセット条件を満たしていない場合、状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

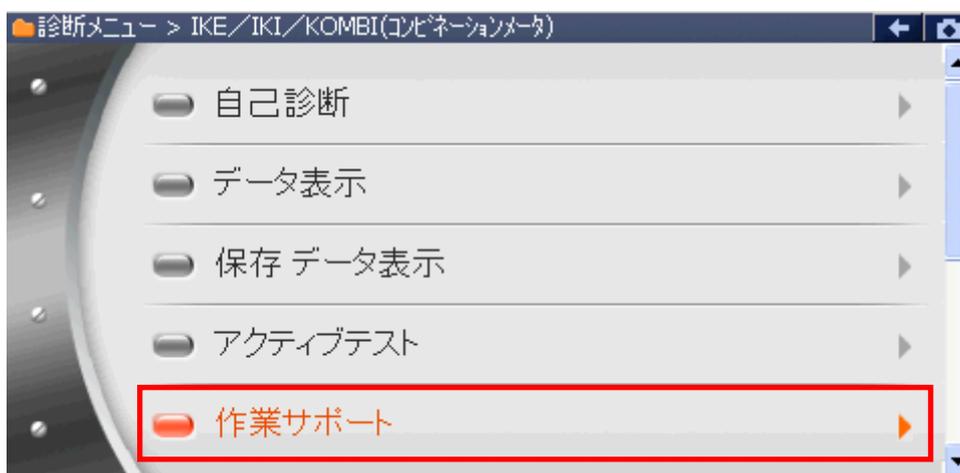
『テスト失敗』と表示された場合、リセット条件を確認してください。また、車両によってはサービスリセットを実行できない場合があります。その場合にも『テスト失敗』と表示されます。



〈図:リセット失敗〉

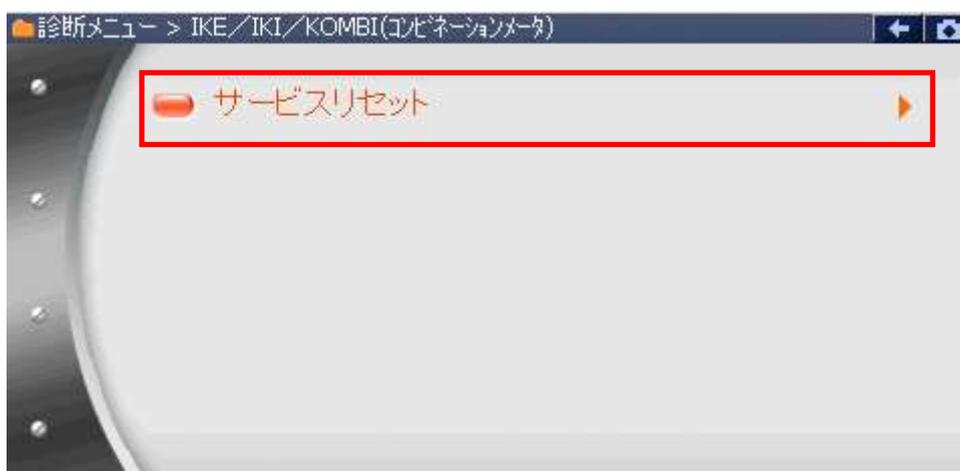
《作業サポートメニューからのサービスリセット方法》

- 1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



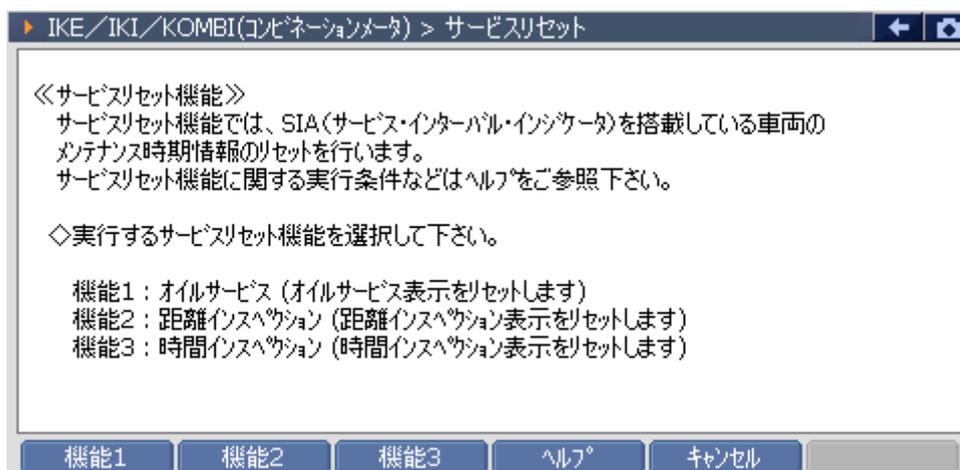
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 2) 作業サポートメニューにおいて『サービスリセット』を選択して  ボタンを押してください。



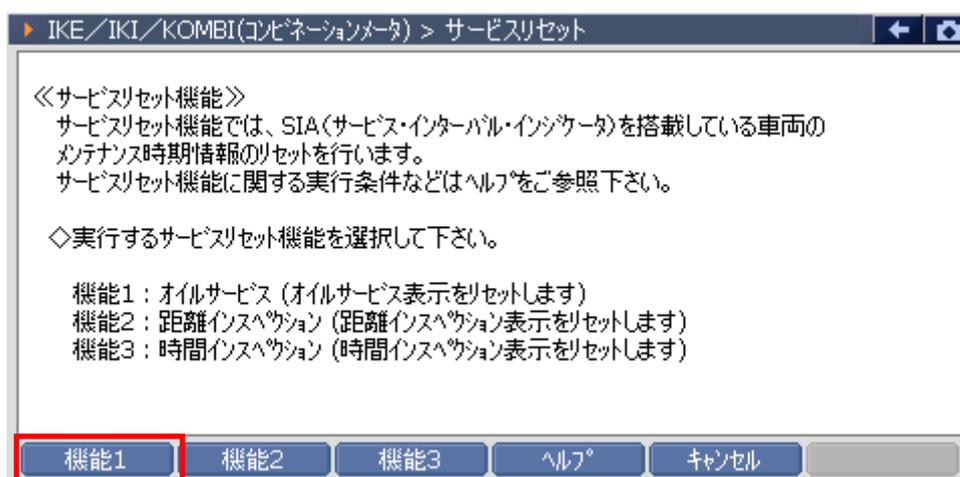
〈図: 作業サポートメニューにてサービスリセットを選択〉

3) サービスリセット画面が表示されます。



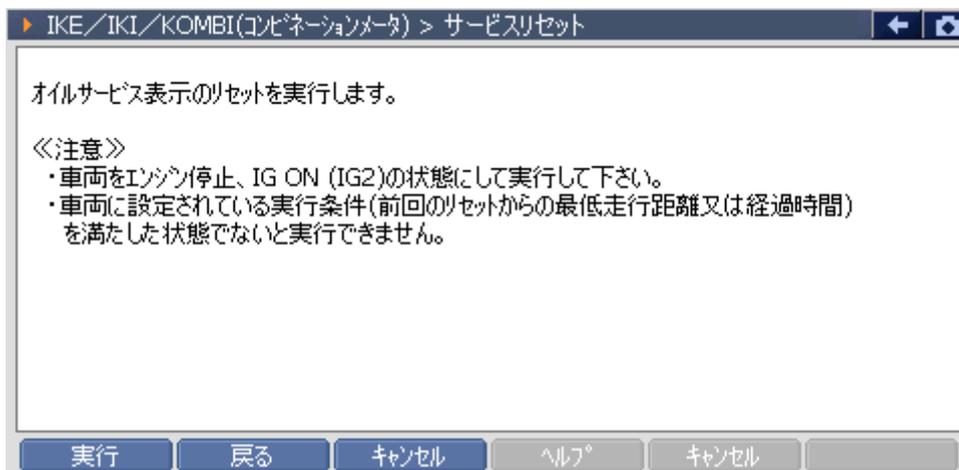
〈図: サービスリセット画面〉

4) 実行するサービスリセット機能を選択します。例として、**機能1** ボタンをタッチ、又は  ボタンを押してをください。



〈図: サービスリセット機能を選択した画面〉

- 5) サービスリセット機能の説明文が表示されます。サービス機能を実行する場合は **実行** ボタンをタッチ、又は  ボタンを押してリセットを実行してください。



〈図:オイルサービスを選択した画面〉

- 6) 実行に成功した場合、下記の様に表示されます。



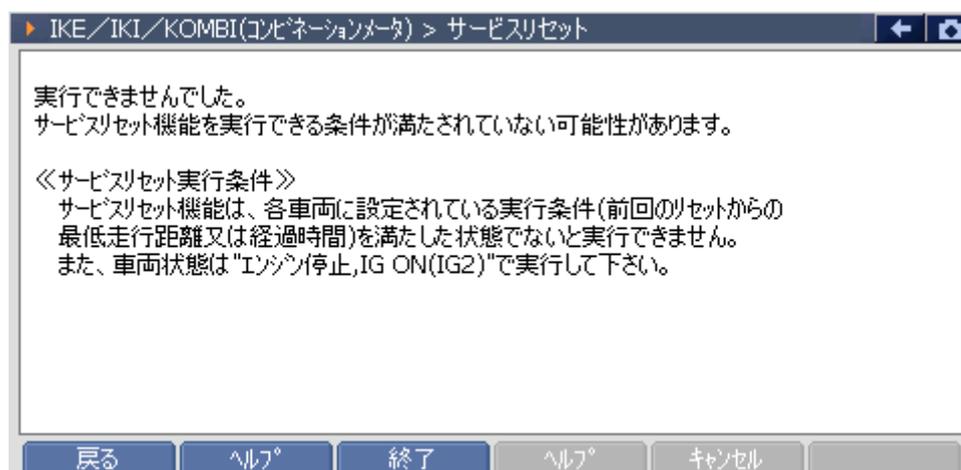
〈図:オイルサービス機能を実行した画面〉

※注意と補足※

- ・ サービスリセットを行うにはリセット条件があります。

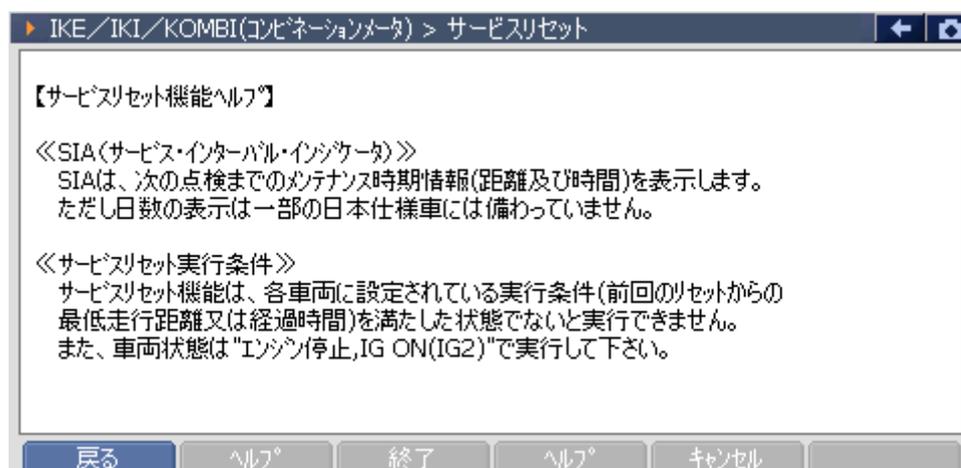
リセット条件を満たしていない場合、下記のように表示されます。

『実行できませんでした。』と表示された場合、サービスリセット実行条件を確認してください。



〈図: サービスリセットに失敗した画面〉

- ・ また、車両によってはサービスリセットを実行できない場合があります。その場合にも『実行できませんでした。』と表示されます。詳細をヘルプにまとめてありますので確認してください。



〈図: ヘルプを選択した画面〉



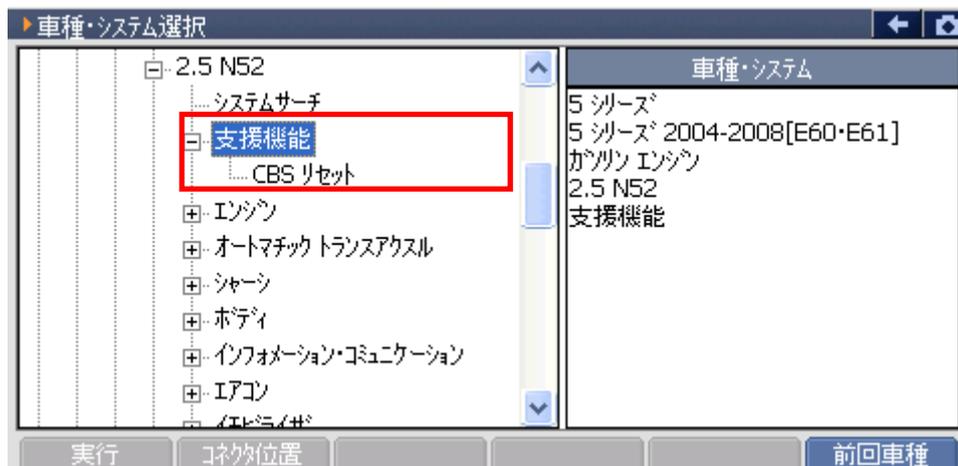
警告

- CBSリセットはBMWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- CBSリセットは車両のディスプレイ内にメンテナンス時期の期限が来た、または期限が過ぎた場合、黄色または赤色で表示されたサービス項目を実施してください。

『CBSリセット機能』は、CBS(コンディション・ベースド・サービス)を搭載している車両のメンテナンス時期情報のリセットを行います。

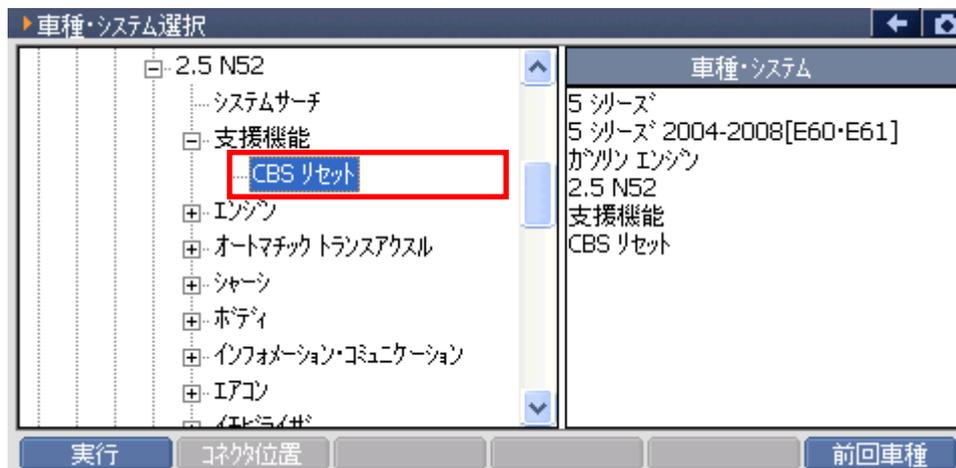
※リセット機能の種別に関してはP58を参照してください。

- 1) 車種・システム選択画面にて『支援機能』を選択して  ボタンを押してください。システムの詳細が表示されます。



〈図: 車種・システム選択画面にて支援機能を選択〉

- 2) 『CBSリセット』を選択して  ボタンを押してください。診断メニューが表示されます。



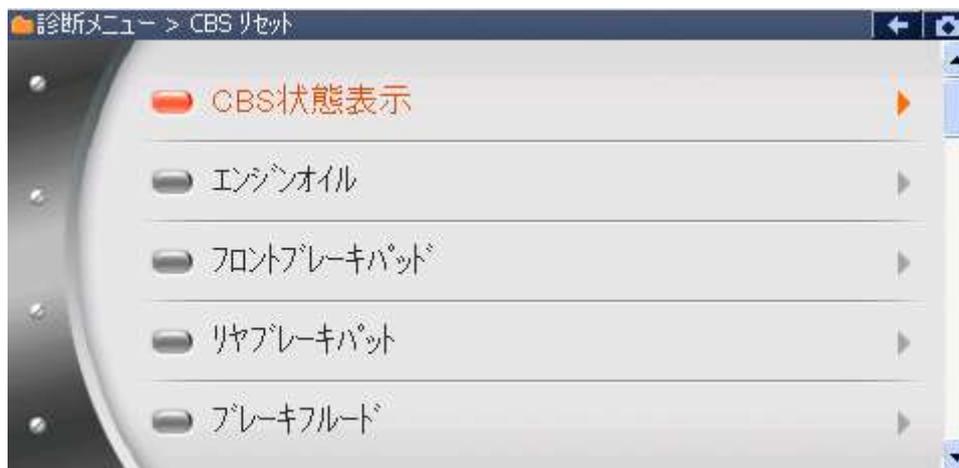
〈図: 車種・システム選択画面にてCBSリセットを選択〉

- 3) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して  ボタンを押してください。



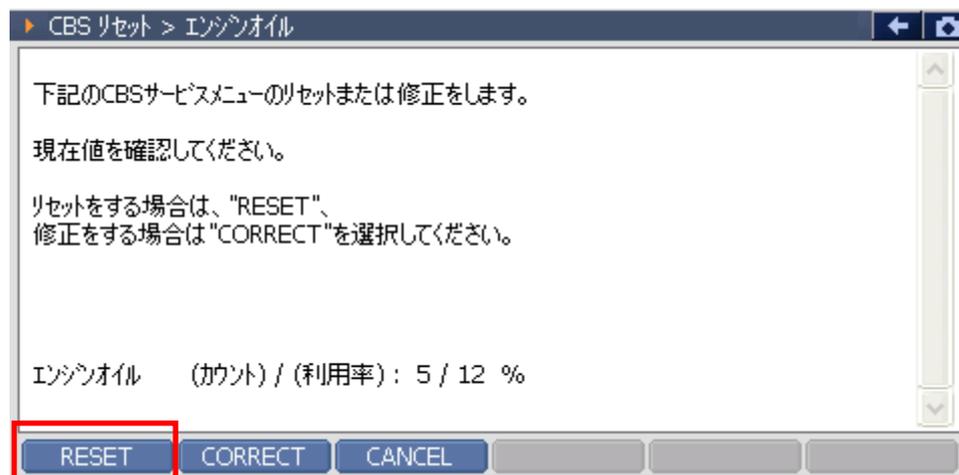
〈図: 診断メニューにて作業サポートを選択〉

- 4) CBSリセット機能メニューが表示されます。リセットを実行する機能を選択してください。ここでは例としてエンジンオイルを選択します。



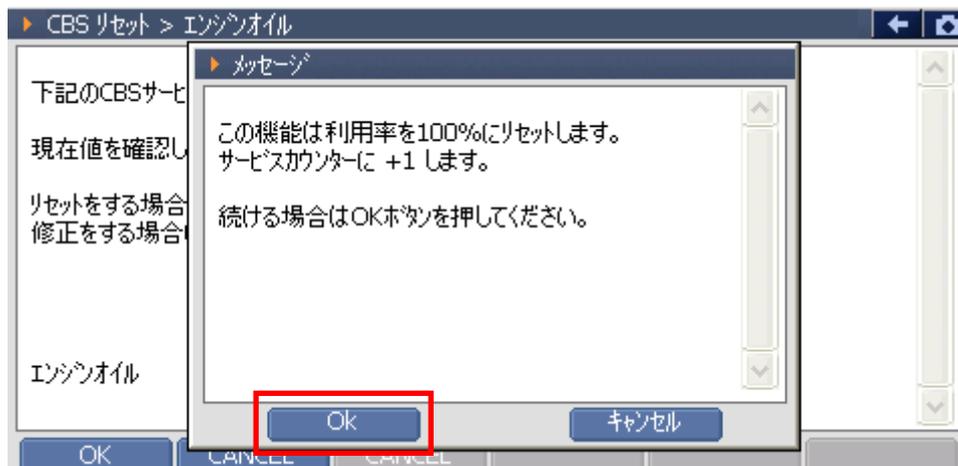
〈図: CBSリセット機能メニュー画面〉

- 5) エンジンオイルを選択すると、下記のように表示されます。目的に合わせてボタンを選択してください。ここでは例として、RESETボタンを選択します。



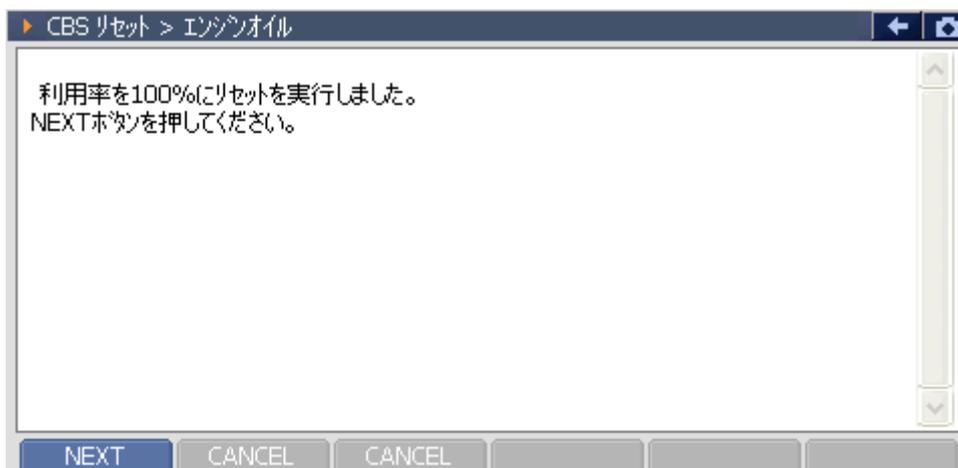
〈図: エンジンオイル CBSリセットメッセージ画面〉

- 6) RESETボタンを押すと、下記の注意メッセージが表示されます。実行する場合はOKボタンを押してください。



〈図:エンジンオイル CBSリセット注意メッセージ画面〉

- 7) 実行が完了すると、下記のように表示されます。



〈図:エンジンオイル CBSリセット完了メッセージ画面〉

※車両によって対応するサービス項目が異なりますので注意してください。



警告

- 作業サポートはBMWのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
 1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
 2. ブレーキペダルを踏込む。
 3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

作業サポート対応項目は以下の通りです。

<<エンジン>>

項目	説明
学習値初期化	エンジンの学習値を初期化します。
学習値再学習	エンジンの学習値を再学習させます。

<<トランスミッション>>

項目	説明
学習値初期化	トランスミッションの学習値を初期化します。

<<CAS(カーアクセスシステム)>>

項目	説明
CASリセット	コンフォートアクセス(ドアのロック解除、車両始動、車両のロック)に関する作業後に必要になります。

<<コンビネーションメータ>>

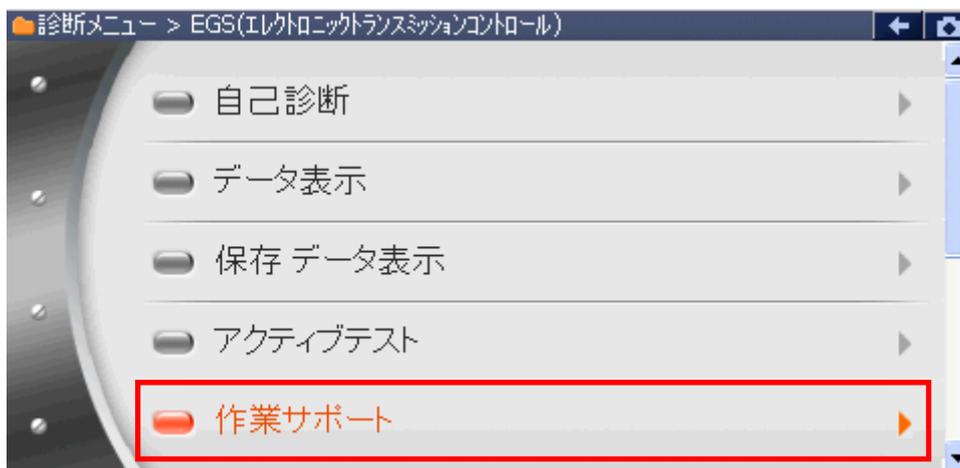
項目	説明
サービスリセット	サービスリセット機能を実行します。

<<メンテナンス>>

項目	説明
サービスインターバルリセット	サービスリセット機能を実行します。
テクニカルインフォメーション	X5[E70]のキー登録に関する情報を表示します。

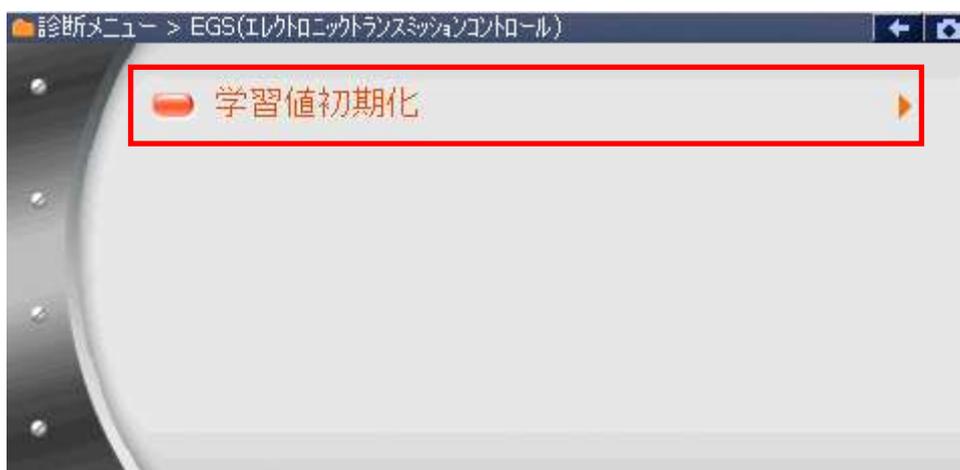
<<トランスミッション 学習値初期化の場合>>

1) 診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ボタンを押してください。



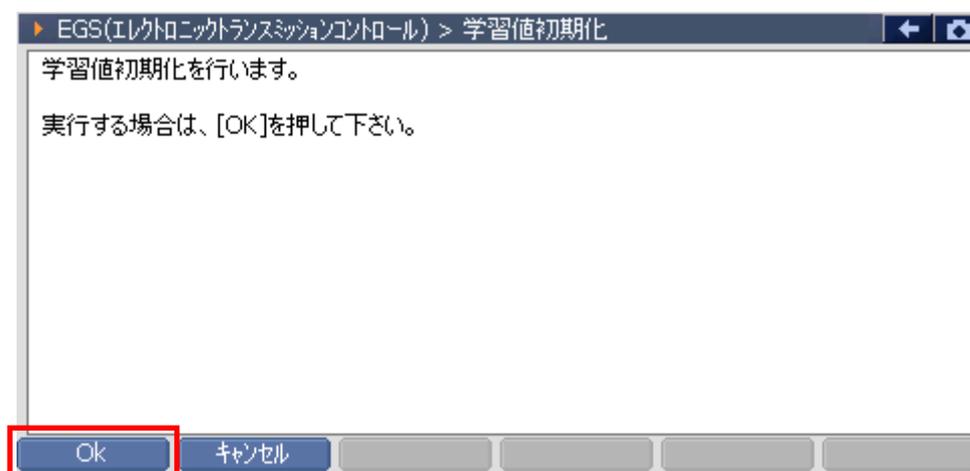
<図: 診断メニューにて作業サポートを選択>

2) 作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して  ボタンを押してください。



<図: 作業サポート項目選択画面>

- 3) 確認メッセージ画面に移ります。確認メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ **Ok** ボタンを押し、画面の指示に従って作業サポートを実行してください。



〈図: 確認メッセージ画面 学習値初期化〉

- 4) 作業サポートが実行され、完了メッセージが表示されます。
Ok ボタンを押し、作業サポートを終了します。



〈図: 完了メッセージ画面 学習値初期化〉

※注意と補足※

上記の画面はエンジンシステム作業サポート『学習値初期化』の実行画面です。

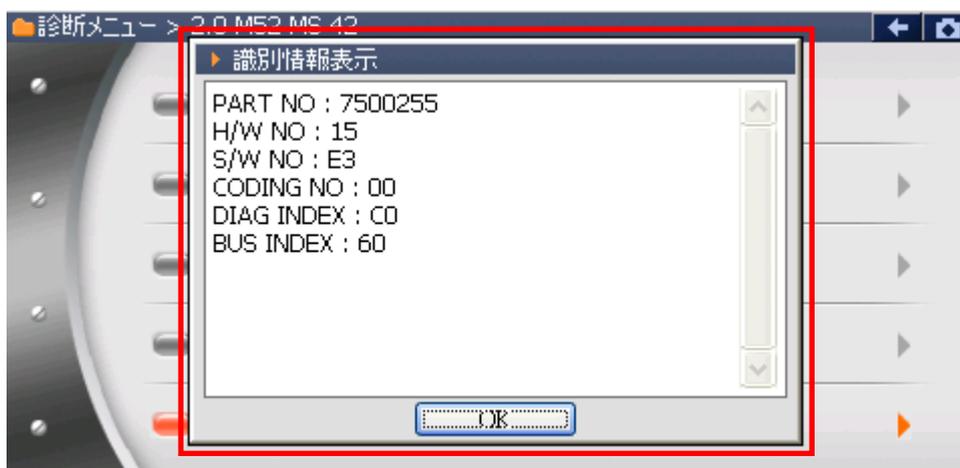
表示される内容は実行する作業サポート項目によって異なります。

- 1) 診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して **ENTER** ボタンを押してください。



〈図: 診断メニューにて識別情報表示を選択〉

- 2) 識別情報が表示されます。



〈図: 識別情報表示画面〉



株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

<http://www.inter-support.co.jp>

製品保守センター

(修理のお問合せはこちら)

Tel 029-304-0185

サポートセンター

(製品のご相談・ご質問はこちら)

Tel 0570-064-737 (ナビダイヤル※)

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年5月発行 第13版

本書を株式会社インターサポートの許可無く複写、複製、転載する事を禁じます。

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。

G1PZFDN001-11-13